

平成30年度
教育委員会の点検・評価
報告書

令和元年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

- スクールサポーター配置事業
- 二期制
- 英語教育の推進
- 教育相談センター事業
- Ama Teachers College
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
- 県委託事業
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
- 学校支援会議
- あまっ子宣言
- 弁当の日
- 全国大会等出場報奨金
- 小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

- 公民館事業
- 成人式事業
- シルバーカレッジ事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権啓発推進事業
- 子ども・若者支援地域協議会事業
- 地域学校協働活動事業
- 社会教育団体育成事業
- 歴史民俗資料館事業
- 文化財保護啓発事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業

(3) スポーツ課

- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業

(4) 学校給食センター課

- 学校給食事業
- 新学校給食センター整備事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成30年度は定例会議を12回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（平成31年3月31日現在）

職名	氏名	任期（*）
教育長職務代理者	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成23年6月25日～平成27年6月24日 平成27年6月25日～平成31年6月24日
委 員	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日～平成22年6月24日 平成22年6月25日～平成24年6月24日 平成24年6月25日～平成28年6月24日 平成28年6月25日～平成32年6月24日
委 員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成22年3月22日～平成22年6月24日 平成22年6月25日～平成26年6月24日 平成26年6月25日～平成30年6月24日 平成30年6月25日～平成34年6月24日
委 員	さとう あけみ 佐藤 明美	平成28年6月25日～平成29年6月24日 平成29年6月25日～平成33年6月24日
委 員	みぞぐち まさみ 溝口 正己	平成29年6月25日～平成33年6月24日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成24年4月1日～平成26年6月24日 平成26年6月25日～平成29年3月31日 平成29年4月1日～平成32年3月31日

（*）任期は平成31年を令和元年とし、以降順送りに読み替える。

(2) 教育委員会会議等

開催日	開始時間	議案件数	報告件数
平成30年 4月17日（火）	午後2時	9件	11件
5月21日（月）	午後2時	4件	10件
6月25日（月）	午後2時	7件	9件
7月19日（木）	午後2時30分	8件	4件
8月22日（水）	午後2時	8件	9件
9月25日（火）	午後2時	10件	9件
10月25日（木）	午後2時	5件	6件
11月30日（金）	午後2時	9件	7件
12月20日（木）	午後2時	7件	7件
平成31年 1月24日（木）	午後2時30分	3件	7件
2月27日（水）	午後2時	11件	7件
3月20日（水）	午後2時	8件	9件

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「後援申請」など89件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議の他にも委員は様々な活動をしました。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

○市議会関係	38回
○教育長用務	112回
○学校教育課用務	88回
○生涯学習課事業	27回
○スポーツ課事業	15回
○学校給食センター課事業	4回
○市行事	116回

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。この考えをもとに、平成24年4月（平成28年4月改訂）に「あま市教育立市プラン」を策定し、この具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置事業（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置事業（全小中学校（市雇用））
- 教育相談センター事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育の推進
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- 教育人材バンクと出前授業
- 教員研修「Ama Teachers College」
- 公民館事業
- シルバーカレッジ事業
- 子ども・若者支援地域協議会事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 美和文化会館事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 学校給食事業

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■スクールサポーター配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T (※) 指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

(※) T T ……チーム・ティーチング。担当の教師が進める授業に、教師とスクールサポーター（教職補助員）がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

スクールサポーター配置数

(延べ人数)

学校名	配置数	学校名	配置数	学校名	配置数
七宝小学校	4 人	篠田小学校	6 人	七宝中学校	6 人
宝小学校	3 人	美和東小学校	6 人	七宝北中学校	4 人
伊福小学校	6 人	甚目寺小学校	6 人	美和中学校	6 人
秋竹小学校	3 人	甚目寺南小学校	7 人	甚目寺中学校	6 人
美和小学校	6 人	甚目寺東小学校	7 人	甚目寺南中学校	5 人
正則小学校	4 人	甚目寺西小学校	5 人		

(複数校勤務者については各校で人数に計上しています。)

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T T の授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

● 通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒は年々増加しています。

令和元年度も学習支援などを有効に進めていけるよう、スクールサポーターをより一層効果的に活用していきます。

■二期制

市内全小中学校において、二期制を実施しました。

○二期制のメリット

- ・学校生活に時間的なゆとりを生み出し、学習や活動が充実させることができる。
- ・授業時間数が増え、子どもとじっくり向き合うことができ、一人一人の基礎学力の定着を図ることができる。
- ・評価の期間が長くなるので評価資料も増え、子どもたちの技能や能力、学習意欲などを、より正確に評価することができる。
- ・体験学習など、子どもたちの興味・関心を高め、時間をかけてじっくりと取り組むことができる。
- ・学校生活や進路選択について、教師とじっくり相談する時間が増えるとともに、学力のより正確な評価を行うことにより、よりよい進路選択が可能になる。

一方、前期・後期の途中に夏季・冬季の長期休業が入り、学校生活が途切れ、学習の継続性やリズムが失われるといったデメリットもあります。これについては、長期休業の前に個人懇談や二者・三者懇談を行い、それまでの学習状況について具体的に指導することで、各小中学校で対応しました。

○あま市二期制の経緯

- ・平成19年度から、七宝北中学校において学校目標を実現させる手立ての一つとして二期制を実施。

- ・合併後、七宝北中学校を二期制の研究校とし、教育委員会の承認を受け二期制を継続実施。
- ・平成29年度から、市内5中学校において二期制を実施。
- ・平成30年度から、市内全小中学校において二期制を実施。

○二期制の概要

- ・現行の三学期制のまま、1年を前期と後期の二期に分ける。

入学式・始業式→夏休み→引継ぎ式→冬休み→卒業式・修了式

二期制実施状況を把握するため、平成31年2月に、市内全校において保護者、中学校生徒、教員にアンケートを実施しました。保護者アンケートの結果（一部抜粋）は以下のとおりです。

○保護者アンケート結果（一部抜粋：平成31年2月実施）

4：あてはまる	3：だいたいあてはまる
2：あまりあてはまらない	1：あてはまらない

- ①学校は、授業時間数を確保し、わかる授業を行うように努めている。

< 4：24.2% 3：61.1% 2：12.3% 1：2.4% >

- ②学校は、子どもの成長をしっかりととらえた評価を行い、通知表を作成している。

< 4：24.7% 3：57.9% 2：14.1% 1：3.3% >

- ③学校は、行事に対して時間をかけて計画や準備を進め、取り組めるように工夫をしている。

< 4：29.2% 3：57.1% 2：11.3% 1：2.4% >

- ④わが子は、7月（8月）や12月の個人懇談で学習についてのアドバイスを生かし、長期の休み中も計画的に課題に取り組むことができた。

< 4：17.6% 3：48.5% 2：27.9% 1：6.0% >

※ アンケート結果からも分かるとおり、①～③では、肯定的な回答がいずれも80%を超えており、二期制のメリットを生かすことができています。しかし、④では、肯定的な回答が66%にとどまりました。このことから、長期の休業を有効に活用できるような手立てに取り組むことが必要になります。

- 令和元年度も、二期制導入後の保護者の声などをアンケートなどで集約し、よりよい二期制のあり方についての検討を積み重ねていきます。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、外国人（5人）と邦人（4人）の非常勤講師を英語指導助手（ALT）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- （1）中学校の英語科授業における英語指導
- （2）小学校の英語活動における英語指導
- （3）授業で使用する教材の作成
- （4）教員に対する現職研修
- （5）授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- （6）研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 9人（アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、日本）
- ・中学校：英語指導助手 5人（アメリカ合衆国、カナダ、イギリス）

※ 各小学校では、ALTとのTT指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、ALTと英語教師によるTT指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

- 令和２年度の新学習指導要領全面実施に伴い、小学校中学年は年間３５時間の外国語活動、小学校高学年は年間７０時間の外国語科が実施されます。今後は、ＡＬＴといった人的環境やＩＣＴといった物的環境を整備していく必要があります。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」、「教育相談活動」、「不登校などの指導及び支援」を三つの柱として事業を実施しました。

○学校教育支援事業

子ども同士の関わりを大切にした学級経営や授業の改善を進めるため、また、各学校の教科指導や児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招く「教育アドバイザー派遣事業」等を実施しました。

・教育アドバイザー派遣 ６件

○教育相談事業

学校生活や教育活動上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や特別支援教育への援助、学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

【職員】 ・教育相談支援員 ２人
・派遣指導員 ２人
・心理支援相談員 ３人
・学校支援アドバイザー １人
・親と子の相談員 １人

【教育・心理 相談面接件数（巡回指導含む。）】

・保護者	８０４件	
・児童生徒	２，００９件	
・教職員	１，４９７件	
・教室訪問	４８２件	合計 ４，７９２件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生徒指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

【職員】 ・専任指導員 １人
・補助員 ５人

【通室者】 ・平成３０年度：適応指導教室の登録者数 ４８人
平成２９年度よりの継続 ２７人
平成３０年度新規登録者 ２１人
・適応指導時間数 延べ２，２４０時間
・平成３０年度：適応指導教室の登録者の歩み
学校復帰 １７人
卒業 中学３年生１９人（進学者数１８人）

※ 学校教育支援、教育相談、適応指導教室など学校教育活動の支援体制を充実させる事業をすることができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

- 令和元年度は、新たに「子どもの自立を支える親の会」を立ち上げます。不登校児童生徒やその親に対して不安を和らげ、周りとながれるよう、一人ひとりに

とりの状況を丁寧に把握し、支援していきます。また、新たな一人を生み出さないためにも市教育委員会や学校と連携を図りながら児童生徒支援を進めていきます。

■Ama Teachers College

教師が日頃いろいろな問題に出会い、その解決に戸惑う場面に突き当たる時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることをねらいとして講座を開催しました。平成30年度は夏季休業中に研修を多く設定し、多くの教員が参加できるようにしました。

○講座

回	講座名	講師（敬称略）	参加人数
1	四役の仕事とは？	あま市教育委員会教育長 松永 裕和	14 人
2	教育論文の書き方	津島市立南小学校長 浅井 厚視	15 人
3	授業づくりの基礎の基礎 鉛筆指導の進め方	後藤 信英	37 人
4	通常学級の中で障がいのある子どもの 指導法について	愛知淑徳大学 佐藤 賢	43 人
5	危機管理講座 いじめ事件勃発！その対応は？	弁護士 庄司 俊哉	52 人
6	先生と法律…こんなことあんなこと	甚目寺中学校 大野 正親	26 人
7	学級づくりに生かす道德教育	愛知教育大学 鈴木 健二	29 人
8	道德科の授業について考えよう！	愛知学泉大学 前田 治	56 人
9	発達障害の二次障害…不登校	あま市相談センター 臨床心理士	40 人
10	子どもも教師も明日も行きたくなる学 級&授業づくり パートⅡ	岐阜聖徳学園大学 玉置 崇	37 人
11	子どもを高める道德の授業づくりと評 価	七宝小学校 鈴木賢一	34 人

○訪問研修

研修名	講師（敬称略）
あま市の教育について	あま市教育長 松永 裕和
豊かな心と学ぶ力を育む図書館教育 ー読み聞かせ～始めようー	山口 陽子 宇野 明美
不登校についてみんなで考えよう ーはじまりから引きこもりまでー	教育相談センター長 加藤 和正

訪問回数 14回

※ 特別支援教育やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義、リスクマネジメントや授業づくりに関する講義など、校内では十分に行うことのできない研修について補充・支援や充実を図ることができました。

● 今後も、教員の資質や力量向上を目指し、教職員が参加したくなるような内容の研修会を設定していきます。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでおり、児童生徒数の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、未来を担う子ども達「あまっ子」をとりまく教育・学校運営等の面における適正な学習環境の構築を目的に、平成30年度は1地区において市民の意見を聴きながら検討をしました。

○七宝北中学校地区委員会

- ・平成29年度に引き続き、七宝北中学校地区委員会を開催し、適正規模化に向けた通学制度について検討を行いました。

地区委員会（3回開催）

6月20日、12月12日、2月20日

○甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会

- ・平成29年度、教育委員会に提出された「現段階で学区変更の実現は困難であるが、今後も両地区の理解を深め適正規模に向けた機運の醸成を行う。」趣旨の意見書に基づきこの意見書を踏まえた手法がどのようなものがあるかを検討しましたが、委員会を立ち上げるまでに至りませんでした。

※ 七宝北中学校地区委員会では、①七宝北中学校入学希望者の指定校変更を可能とする通学制度の導入、②対象学区として美和東小学校区・篠田小学校区・七宝小学校区とすること、③導入時期を令和2年度とすること、以上3点について、地区委員会から意見書が提出されました。2月に開催された教育委員会定例会議において令和2年度導入が決定されました。決定事項については対象校を通じて各保護者に情報提供しました。

- 七宝北中学校地区委員会については、令和2年度に七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度導入に向けて検証し、事務手続きの具体的調整を進めるとともに、PR・周知を行います。甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会については平成29年度の甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会の意見書を基に、両地区の理解を深める方策や学校のあり方について、学校関係者と相談しながら検討を行います。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成30年度の研究主題を『人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係をはぐくむ教育 ～児童生徒のエンパワーメントを目指して～』として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

- ・会 長 美和小学校長
- ・事業費 800,000円（市補助金）
- ・主な活動内容
 - （1）海部地区人権教育講演会実施
 - （2）全国人権・同和教育研究大会等参加
 - （3）研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取組の継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

- 令和元年度も「部落差別の解消の推進に関する法律」（H28.12施行）の趣旨を踏まえ、教育及び啓発を行っていきます。

■県委託事業

○キャリアスクールプロジェクト（中学校）

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため、全中学校の2年生を対象に職場体験学習を実施しました。

1年生を対象に、様々な職業に対する知識や、職場体験学習に対する理解と意欲を高めるためのガイダンス事業を行いました。また、3年生を対象に、講師の講話を聞いたり、将来の生き方について考えを発表したりすることにより、働くことや学ぶことに対する意欲を向上させるためのプレゼンテーション事業を行いました。

・事業費 488,823円（うち県委託金 165,000円）

学校名	職場体験学習 参加生徒数 (2年生)	実施日	受 入 事業所数
七宝中学校	155名	6月20日～6月22日	47か所
七宝北中学校	43名	6月4日～6月6日	16か所
美和中学校	240名	10月24日～10月26日	57か所
甚目寺中学校	230名	11月13日～11月15日	66か所
甚目寺南中学校	211名	11月6日～11月8日	46か所

※ 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

● 令和元年度も、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感できるキャリア教育を推進していきます。

■特色ある学校づくり推進事業

・事業費 6,421,000円（全小中学校合計）

・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

7月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、10月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。

・各校の平成30年度事業名

学校名	事業名
七宝小学校	(1)豊かな感受性を育む表現活動の充実 (2)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 (3)豊かな心と身体を育む
宝小学校	(1)郷土を愛し、理解する活動 (2)ふれあい・学びあいを生かした体験学習
伊福小学校	(1)豊かな心を育む活動事業 (2)ユニバーサルデザインを取り入れた学校環境、授業改革をめざす事業 (3)自分の命は自分で守る子を育てる活動事業

秋竹小学校	(1)ふれあい・学びあいを活かした学習指導 (2)豊かな心とたくましい体を育む教育活動 (3)ふれあいを大切にした体験活動
美和小学校	(1)ＱＵの活用と個に応じた適切な支援による温かい学級づくり (2)地域交流と情報発信 (3)教師力アップ事業
正則小学校	(1)地域と連携したキャリア教育 (2)豊かな心の醸成と健康づくり (3)指導力向上
篠田小学校	(1)よりよく考え、自ら学ぶ子の育成 (2)心豊かで思いやりのある子の育成 (3)命の学習
美和東小学校	(1)つなぐつながる東っ子
甚目寺小学校	(1)甚小タイム活動 (2)教師の力量向上事業 (3)ユニバーサルデザイン
甚目寺南小学校	(1)甚南小なかよしプロジェクト
甚目寺東小学校	(1)人権教育推進事業 (2)外部人材の教育力活用事業
甚目寺西小学校	(1)思いやりの心と規範意識の高揚 (2)挑戦する土台づくり
七宝中学校	(1)自己を見つめ、他人を思いやる心の育成 (2)自他の良さを認め合い、主体的に学び続ける生徒の育成 (3)基礎学力を向上し、分かる楽しさを実感する生徒の育成
七宝北中学校	(1)「合唱」を中心に小中学校が連携して進める豊かな教育活動 (2)地域の教育力活用事業 (3)豊かな心を育む栽培活動
美和中学校	(1)指導力向上 (2)豊かな人間性の育成 (3)キャリア教育の推進
甚目寺中学校	(1)実社会へ出るための人間力づくり活動
甚目寺南中学校	(1)教師の資質向上を図り、学校の教育力を高める事業 (2)地域と育むモラル向上に関する事業 (3)夢を持ち自己実現に向けて努力できる生徒の育成をめざす啓発活動

※ ７年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

● 審査会を実施することで、限られた市の予算を「より熱い思いの事業」に配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりを目指し、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

■キッズ防犯体験教室事業

- ・事業費 453,600円（全小学校合計）
- ・実施校 市内全12小学校（3年生のみ）

自立心が芽生え、友達と出かける行動範囲も広がってくる小学校3年生の児童を対象に、自身に危険が迫った時に自分の身を守る方法を練習する防犯体験教室を実施しました。

学校名	実施日	学校名	実施日
七宝小学校	2月13日（水）	篠田小学校	12月17日（月）
宝小学校	2月18日（月）	美和東小学校	1月24日（木）
伊福小学校	12月5日（水）	甚目寺小学校	1月22日（火）
秋竹小学校	9月26日（水）	甚目寺南小学校	10月16日（火）
美和小学校	12月10日（月）	甚目寺東小学校	11月21日（水）
正則小学校	11月28日（水）	甚目寺西小学校	1月23日（水）

- ※ 児童が不審者から身を守るための方法を身に付けることができ、児童一人ひとりに「自分の身は自分で守る」という危険回避の意識を培うことができました。また、紙芝居を用いた分かりやすい説明や実際の状況を想定した訓練体験により、防犯意識の向上につながりました。
- 令和元年度も見守り隊やPTAに参加していただき、地域との連携を図っていきます。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、学校の依頼に応じて次の活動を行います。

- ・講師は、登録された分野に係る指導、講座の実施等
- ・学校支援ボランティアは、登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援

平成30年度登録人数 38人

「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業を市内全ての小学校で計12回実施しました。

また、平成27年度から、小学校高学年の希望者を対象に「あま市ものしりジュニア選手権」を実施しています。

- ※ 地元の人材を掘り起こし、有効活用を図る教育人材バンクを設置し、出前授業を実施したことにより、地域に密着する市民協働のまちづくりの第一歩として効果を上げる事ができました。
- 今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やし、学校が必要とする人材に関する情報を提供していきます。また、「あま市ものしりジュニア検定」をはじめとしたふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

■学校支援会議

平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（通称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請する

もので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

平成30年度は、甚目寺南中学校（9月）から要請があり学校支援会議を行いました。

- ① 家庭への働きかけや保護者に対する指導
- ② 学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請
- ③ 緊急事項に対する学校対応の方針づくり
この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。
 - ・「緊急ケース会議」のメンバー
緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良いと考える教職員）
 - ・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー
 - ① あま市教育委員会（指導主事など）
 - ② あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）
 - ・会議の必要に応じて招集するメンバー
 - ③ 海部児童・障害者相談センター
 - ④ 警察関係者
 - ⑤ 学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）
 - ⑥ 学校医・学校歯科医・あま市民病院
 - ⑦ あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立したことは画期的で、地域に密着した学校づくりを進めることができました。

- 今後も、必要に応じて「あま市学校支援会議」を開催することで、学校と家庭・地域などが連携・協働して問題解決ができる体制づくりを進めていきます。

■あまっ子宣言

あまっ子宣言の下敷きを作成し、新入学児童に配布しました。

あまっ子宣言の唱和やあまっ子宣言を取り入れた授業等を行いました。

- 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいきます。

■弁当の日

弁当の日を市内全ての小中学校で実施しました。児童生徒が自分の弁当を自ら準備する活動を通して、食への関心を高めたり、食事の用意をする家族への感謝の気持ちをもちたせたりすることをねらいとしています。また、そのような活動を行わせることで、児童生徒の自立心が培われます。

○主な取組内容と実施日

- ・手作り弁当を持参して各教室で会食会を開く。
- ・家で作ったおにぎらずを学校に持ってくる。
- ・小中交流会に手作り弁当を持参する。
- ・家庭科で準備し学級ごとに会食する。

学校名	実施日	対象学年
七宝小学校	11月28日（水）	6年生
宝小学校	10月22日（月）	6年生
伊福小学校	11月12日（月）	6年生

秋竹小学校	10月22日（月）	6年生
美和小学校	12月10日（月）	6年生
正則小学校	11月12日（月）	5・6年生
篠田小学校	12月18日（火）	6年生
美和東小学校	11月27日（火）	5・6年生
甚目寺小学校	12月10日（月）	6年生
甚目寺南小学校	12月7日（金）	6年生
甚目寺東小学校	12月10日（月）	6年生
甚目寺西小学校	12月10日（月）	5・6年生
七宝中学校	11月12日（月）	1年生
七宝北中学校	10月22日（月）	全学年
美和中学校	1月22日（月）	1年生
甚目寺中学校	12月10日（月）	1・2年生
甚目寺南中学校	12月10日（月）	全学年

○児童生徒アンケート

- ・ 普段、大会や行事で作ってもらっているお弁当は、今日作ってみて栄養などをきちんと考えてくれているんだと、ありがたみを感じることができました。
- ・ 朝早く起きること、普段めったにしない料理をすることなど、すべてが大変でした。その分達成感も大きかったです。苦労したことを思い出しながら食べたら、余計においしく感じました。
- ・ いつもお母さんが作ってくれていますが、改めて自分で作ると難しいということがわかりました。包丁は苦手ですが、頑張って教えてもらってできました。

○保護者アンケート

- ・ 一緒に食材の買い物に行き、朝早く起きて一緒に料理することは、とてもよいふれあいになりました。
- ・ 親が思っている以上に自分一人ででき、成長を感じることができました。
- ・ 弁当作りの大変さ、楽しさ、そして、それを食べる喜びが実感でき、良い体験だと思いました。

※ 児童生徒や保護者のアンケートより、弁当の日の取組を通してねらいに迫ることができました。弁当の日にかかわる教員向け研修会を各校で実施したことで弁当の日のねらいを教員一人ひとりがしっかりと認識し、家庭へ伝えることができたからだと考えます。

- 今後は取組を継続していくことで、市内全ての児童生徒に弁当の日の活動を通して自立心などを培っていきます。

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

- ・ 出 場 者
国際大会 7人

全国大会 43人・9団体

・事業費 540,000円

※ あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

● 教育、文化又はスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場する市民及び団体に対して、報奨金を交付することにより、市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上を奨励します。

■小中学校施設整備事業

安全安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○七宝小学校体育館吊天井改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

屋内運動場等の大規模な吊天井を有する施設は、地震発生時において甚大な被害が発生する可能性が高いため、大規模な吊天井を有する七宝小学校体育館の改修工事をしました。

・事業内容 吊天井の撤去、屋根防水改修、照明LED化、音響消防設備改修、ガラス部飛散防止フィルム貼り、体育室床改修、窓外部防球ネット改修

・事業費 69,984,000円（平成29年度繰越事業）

○宝小学校体育館吊天井改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

屋内運動場等の大規模な吊天井を有する施設は、地震発生時において甚大な被害が発生する可能性が高いため、大規模な吊天井を有する宝小学校体育館の改修工事をしました。

・事業内容 吊天井の撤去、屋根防水改修、照明LED化、音響消防設備改修、ガラス部飛散防止フィルム貼り、体育室床改修

・事業費 67,500,000円（平成29年度繰越事業）

○甚目寺南小学校体育館吊天井改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

屋内運動場等の大規模な吊天井を有する施設は、地震発生時において甚大な被害が発生する可能性が高いため、大規模な吊天井を有する甚目寺南小学校体育館の改修工事をしました。

・事業内容 吊天井の撤去、屋根防水改修、照明LED化、音響消防設備改修、ガラス部飛散防止フィルム貼り、体育室床改修

・事業費 61,020,000円（平成29年度繰越事業）

○美和中学校本館屋上防水改修工事

防水機能の劣化により雨漏りが常態化していたことに加え、平成29年9月の台風が原因とみられる被害により防水シートの一部が破損し、防水層下のコンクリートが露出した状態となっていたため、美和中学校本館屋上の改修工事をしました。

・事業内容 本館屋上防水の全面改修（シート防水工法）

・事業費 24,624,000円

○甚目寺中学校テニスコート南側フェンス復旧工事

平成30年9月4日の台風21号の影響により、テニスコートの南側フェンスがコート側に傾き、倒壊する恐れが生じていたため、フェンスを復旧するための工事をしました。

・事業内容 テニスコート南側フェンス48mの更新

・事業費 2,376,000円

○甚目寺南小学校普通教室エアコン設置工事

子育て支援課主管の甚目寺南小児童クラブ事業の拡大に伴い、長期休暇期間中に開催される児童を対象とした「学習会」や学校内の会議等で、特別教室棟内の多目的室が使用できず、学校運営に支障をきたしていたため、両事業が並行して実施できるよう校舎内3階集会室に空調設備を設置しました。

- ・事業内容 校舎内3階集会室にエアコンを設置
- ・事業費 1,058,400円

※ この改修工事を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

- 安全安心で快適な教育環境を整えるため、今後も施設の整備に努めていきます。

(2) 生涯学習課

■公民館事業

市民の学習ニーズにあった学習の機会を提供し、自発的な学習意欲を喚起するとともに、知識や趣味を広げるきっかけ作りとしました。

○社会教育講座

- ・美和公民館

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
ヨガをしよう	5月5日 (土・祝) 午後	一般	5回	25名	25名	54名
ノルディックウォーキングをしよう	5月19日 (土) 午前					
セルフ整膚をしよう ～美と健康そして病気の予防～	6月2日 (土) 午後					
日本の皇室と宮家	7月14日 (土) 午後					
唱歌はどこからやってきたのか	8月11日 (土・祝) 午後(※)					

(※) 7月28日(土) 台風の接近による警報発令のため延期

○公民館講座

各種講座を開催し、市民が知識や趣味を広げる機会を提供しました。

- ・七宝公民館

前期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
女性のための初めてのクラシックギター	女性	5回	10名	10名	17名
パソコン講座 初めてのパソコン	一般	8回	15名	15名	17名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	一般	6回	15名	15名	38名

バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	一般	8 回	15 名	15 名	52 名
楽しく学ぶ英会話レッスン (Speaking Class)	中学生以上	5 回	15 名	10 名	10 名

後期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
タブレット講座 はじめてのタブレット	一般	4 回	15 名	15 名	34 名
パソコン講座 初めてのパソコン	一般	8 回	15 名	12 名	14 名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	一般	6 回	15 名	15 名	32 名
パソコン講座 ワード基礎	一般	8 回	15 名	15 名	21 名
パソコン講座 エクセル基礎	一般	8 回	15 名	15 名	24 名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス (託児有)	一般	8 回	15 名	15 名	45 名

・美和公民館

前期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パンづくり	一般	3 回	24 名	24 名	30 名
認知症予防講座 ～コグニサイズで楽しく予防～	65 歳以上	5 回	25 名	26 名	33 名
楽しく学ぶ英会話レッスン (Starting Class)	中学生以上	5 回	15 名	12 名	12 名

後期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
認知症予防講座 ～社交ダンスをしよう～	50 歳以上	8 回	25 名	14 名	15 名
国際理解教育講座 ～もっと外国を知ろう～	一般	5 回	25 名	25 名	26 名
認知症予防のための脳トレ講座 ～クラシックギターをしよう～	50 歳以上	5 回	10 名	10 名	23 名

パンとクリスマスケーキづくり	一般	4 回	24 名	24 名	33 名
----------------	----	-----	------	------	------

・甚目寺公民館

前期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	一般	3 回	15 名	15 名	25 名
かいて楽しい、もらってうれしい絵手紙～絵手紙はヘタでいい、ヘタがいい～	一般	5 回	10 名	15 名	30 名
ゆかたの着付け（託児有）	女性	1 回	25 名	25 名	25 名
楽しく学ぶ英会話レッスン（Writing Class）	中学生以上	5 回	15 名	10 名	10 名
はじめる大人の趣味・ボトルシップ	一般	7 回	10 名	中止	1 名
小学生パソコン道場	小学4年生～6年生	1 回	10 名	12 名	12 名

後期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	一般	3 回	15 名	15 名	36 名
笑いヨガ入門	一般	5 回	20 名	20 名	28 名
保護者のためのネットモラル塾	一般	1 回	20 名	5 名	5 名
上手に書ける毛筆	一般	3 回	15 名	9 名	9 名
着物の着付け（託児有）	女性	5 回	25 名	25 名	36 名
木の実でクリスマスリース作り（託児有）	一般	1 回	10 名	18 名	21 名
親子で楽しむ昔の遊び	小学生とその保護者	3 回	10 組	中止	1 組

○親子ふれあい講座

小学生とその保護者対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としました。

・七宝公民館

前期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子レジン①	小学生とその保護者	1 回	6 組	6 組 11 名	6 組 11 名

親子レジン②	小学生とその保護者	1 回	6 組	4 組 8 名	4 組 8 名
親子英会話	小学生とその保護者	1 回	10 組	4 組 8 名	4 組 8 名

後期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子フラワー	小学生とその保護者	1 回	15 組	15 組 29 名	15 組 29 名
親子スイーツデコレーション	小学生とその保護者	1 回	15 組	6 組 12 名	6 組 12 名

・美和公民館

前期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子パン作り	小学生とその保護者	1 回	12 組	12 組 22 名	12 組 22 名

後期講座

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子お菓子作り	小学生とその保護者	1 回	12 組	11 組 22 名	11 組 22 名

○親子（ふれあい）鑑賞会

親子対象の事業を実施し、親子のふれあいの場を提供しました。

事業名	事業内容	開催日時	会場	入場者数
おやこ人形劇鑑賞会	人形劇団『むすび座』公演 「1・2・3 かく・4 かく〇」 「だってだってのおばあさん」	12 月 22 日（土） 午前 10 時 30 分～	甚目寺公民館 講義室	105 名
おやこ人形劇鑑賞会	人形劇団『にくじゃが』公演 「はらぺこあおむし」 「さんびきのこぶた」 「へっこきよめ」	12 月 25 日（火） 午前 10 時 30 分～	甚目寺公民館 講義室	48 名
親子ふれあい伝統的人形劇鑑賞会	甚目寺説教源氏節 『もくもく座』新春公演 「由良港千軒長者三庄太夫一代記 ～山別れの段～」他 （操り三番叟）	2 月 23 日（土） 午後 2 時～	甚目寺公民館 講義室	38 名

○図書室・読書室事業

幼児・児童とその親が絵本などにふれあう機会を提供しました。

事業名	事業内容	回数	参加者数	会場
この本だいすきの会のよみきかせ	幼児・児童向け絵本のよみきかせ	39回	110名	甚目寺公民館 図書室
おどろぐばこのかみしばい	幼児・児童向けかみしばい	12回	42名	甚目寺公民館 図書室
もこもこのおはなし会	親子で楽しむ絵本とわらべうた	20回	376名	甚目寺公民館 教養室
		10回	44名	七宝公民館 和室

○図書室・読書室利用者数・年間貸出冊数

図書室・読書室	利用者数（前年）	年間貸出冊数（前年）	蔵書冊数
七宝公民館読書室	750名（783名）	2,871冊（2,900冊）	14,099冊
甚目寺公民館図書室	15,462名（16,310名）	42,046冊（44,197冊）	36,603冊

○ブックスタート事業

はじめての本との出会いとして、絵本を通じて親子のふれあいの時間を持つことの大切さと、読み聞かせを実践しながら、絵本を手渡しました。

事業名	回数	対象者数	会場
ブックスタート事業	12回	144名	七宝保健センター
	12回	176名	美和保健センター
	22回	390名	甚目寺保健センター

○第二次あま市子ども読書活動推進計画

平成26年4月に「あま市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この計画が平成31年3月をもって満了するため、さらなる子どもの読書活動の推進を図るべく「第二次あま市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

毎年10月27日を「あま読書の日」と定め、市内公共図書館等と関係機関が連携し、子どもが本に親しむ環境を整えます。

- ・計画の対象者 18歳以下を対象とします
- ・計画の期間 平成31年4月から令和6年3月まで
- ・基本目標1 家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進
- ・基本目標2 子どもの読書環境の整備・充実
- ・基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発
- ・基本目標4 子どもの読書活動の推進体制の整備・充実

○パソコン相談室

パソコンで悩みを抱えている方への支援策として、パソコン相談室を開きました。

事業名	回数	対象者数	会場
パソコン 相談室	24回 (3名のボランティア協力による)	41名	七宝公民館 読書室
	12回 (甚目寺パソコンクラブへ委託)	72名	甚目寺公民館 児童室
	9回 (五条高等学校パソコン部へ委託)	33名	甚目寺公民館 児童室
	11回 (美和パソコンフォーラムのボランティア協力による)	71名 (6月は「ときのきね んび展」のため中止)	美和歴史民俗資料館 研修室

※ 公民館事業を通じて、幅広く学習の場を提供することができました。また、健全な地域コミュニティの形成に繋がりました。

● 平成30年度の実績を踏まえながら、令和元年度も継続及び新規の講座を開催していきます。

■成人式事業

成人の日を迎えられたことを祝し、これから一層飛躍されることを願って、市と市教育委員会の共催により、成人式を実施しました。

- ・日時及び場所 平成31年1月13日(日)
甚目寺地区：午前 9時30分開始 甚目寺公民館大ホール
七宝・美和地区：午前10時30分開始 美和文化会館大ホール
- ・行事の内容 式典、成人式実行委員会企画
- ・記念品 印鑑付ボールペン
- ・新成人 平成10年4月2日～平成11年4月1日生れ
- ・対象者 961人(男性467人、女性494人)
- ・参加者 753人(男性396人、女性357人)
参加率約78.3%

上記の他、市外からの参加を希望した新成人

47人(男性22人、女性25人)

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者による、二十歳の誓い、交通安全宣言、アトラクション等が行われ、記憶に残る式典となりました。

● 成人式を開催することで、社会人としての自覚と責任感を促します。令和元年度も実行委員会による運営に取り組みます。

■シルバーカレッジ事業

60歳以上の方々に、学び、交流、健康づくりの場を提供するため、シルバーカレッジを開催しました。

回	授業内容	開催日
1	入学式 / 自己紹介	5月26日(土)
2	出前講座 / 地元産業を学ぼう！	5月30日(水)
3	あま市をもっと好きになる！ ～歴史・文化をたどる～	6月6日(水)
4	あま市の史跡めぐり～散策～	6月13日(水)

5	あま市の史跡めぐり～発表～	6月20日（水）
6	楽しく異文化コミュニケーション①	7月4日（水）
7	楽しく異文化コミュニケーション②	7月11日（水）
8	救命講習	7月25日（水）
9	薬膳で健康な身体をめざそう！	8月1日（水）
10	認知症ケアと回想法	8月8日（水）
11	英語で遊ぼう！	8月29日（水）
12	思いをつなぐ ～子どもたちへできることとは～	9月5日（水）
13	大地震に備える ～災害時にすべきこととは～	9月12日（水）
14	社会見学（ミツカンミュージアム m i m）	9月19日（水）
15	正しい口腔ケアでお口と全身を健康に！	9月26日（水）
16	ご用心！身近に潜む消費者トラブル	10月3日（水）
17	コミュニケーション力アップ！ ～たくさんの人と交流できるようになろう～	10月17日（水）
18	七宝焼を作ろう！	10月24日（水）
19	読書で交流 ～本を読む・伝える楽しさ～	11月7日（水）
20	甚目寺説教源氏節を鑑賞しよう！	11月14日（水）
21	折り紙で脳トレ！	11月21日（水）
22	運動不足を解消！すぐできる健康体操	12月5日（水）
23	卒業文集・アルバムを作ろう！①	12月12日（水）
24	卒業文集・アルバムを作ろう！②	1月16日（水）
25	卒業式	2月9日（土）

- ・会 場 美和文化会館内シルバーカレッジ教室
- ・時 間 午前9時30分から午後0時30分まで
- ・対 象 あま市在住・在勤の60歳以上の方
- ・入 学 生 39名
- ・申込者数 41名

※ シルバーカレッジを通して、学びや交流の場を提供することにより、地域コミュニティの活性化や、互いに助けあえる共助の生活に寄与することができました。

● 令和元年度もシルバーカレッジの目的を踏まえながら事業を実施します。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えている現状があります。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、幼児期家庭教育講座を開催しました。

○幼児期家庭教育講座

講座名	開催場所	受講者数
にこにこ学級	甚目寺公民館 七宝焼アートヴィレッジ 美和公民館	25 組 51 名
消防署へ行こう！ ～消防署見学と応急手当～	海部東部消防署	19 組 38 名
ドロンコ遊びをしよう	海部東農協の美和ライスセンターの田	16 組 41 名
親子で工場見学 ～七宝みそ・醤油蔵元～	佐藤醸造	15 組 31 名
栄養満点ふりかけと野菜たっぷりな お味噌汁を作しましょう	美和公民館	11 組 22 名
おやこであ・そ・ぼ	美和公民館	9 組 18 名
おしゃべり勉強会 ～完璧な親でなくても大丈夫！～	七宝公民館	11 名
赤ちゃんと一緒にベビーダンス♪	甚目寺公民館	12 組 24 名
クリスマスを食べよう	美和公民館	9 組 18 名
凧を作って遊ぼう	七宝焼アートヴィレッジ	14 組 48 名
飾り巻きずしを作ろう	美和公民館	12 組 26 名

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化し、そのあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校 P T A 関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

学校名	主な内容
七宝小学校	実技講習（P T A 道徳授業体験講座）
宝小学校	実習（親子ふれあい除草） 実技講習（健康づくり教室『美姿勢ウォーキング講座』）
伊福小学校	講演（子育て講演会『子供の心（脳）の育て方』）
秋竹小学校	実習（親子で楽しむレクリエーション）、実習（除草）
美和小学校	実技講習（陶芸教室）
正則小学校	実技講習会（読み聞かせ講習会）

篠田小学校	実習（親子共同制作活動）
美和東小学校	講演（絵本・紙芝居は楽しいな！）
甚目寺小学校	実技講習（クラウンパフォーマンス&バルーン教室）（Tボール教室）
甚目寺南小学校	実技講習（アイシングクッキー教室）
甚目寺東小学校	実技講習（ペーパーフラワー）（編み物「モチーフ作り」）
甚目寺西小学校	実技講習（ヨガ教室）（ハーバリウム作り体験）
七宝中学校	講演（苦しくても前向きに生きよ！）
七宝北中学校	実技講習（陶芸教室）、実習（校区美化活動）
美和中学校	講演（家庭教育講演会）、実習（清掃活動）
甚目寺中学校	実習（一家団欒、幸せを呼ぶお正月飾り） 調理実習（大切な子どもたちの心と体に必要な栄養素とは）
甚目寺南中学校	実技講習（スタンドグラスで作るサンキャッチャー）

○子育てサロン

子育て中の親子が気軽に集える場を提供しました。

開催日時	回数	参加者数	会場
8月・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分	20回	141組277名	七宝公民館 和室
8月・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時	30回	126組241名	甚目寺公民館 談話室

※ 各種事業を通して、子育ての悩みを相談したり、家庭教育について考える機会を提供しました。

● 令和元年度も子育ての一助となるよう事業を実施します。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○夏期街頭パトロール（参加者14日間・延べ191人）

平成30年7月20日（金）～平成30年8月29日（水）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○サマーキャンプ事業（参加者0人）

酷暑の為、中止

○「第6回あまつり2018」夜間街頭パトロール（参加者17人）

平成30年8月18日（土）に会場となった七宝焼アートヴィレッジ周辺の街頭パトロールを行いました。

○「イルミネーション点灯式」街頭パトロール（参加者14人）

平成30年11月24日（土）美和文化会館の「イルミネーション点灯式」において、街頭パトロール及び啓発活動を行いました。

○「あま市人権講演会」啓発活動（参加者 11 人）

平成 30 年 11 月 25 日（日）にあま市人権講演会において、啓発資材（ウェットティッシュ）の配布を行いました。

○冬期街頭パトロール（参加者 10 日間・延べ 101 人）

平成 30 年 12 月 21 日（金）～平成 31 年 3 月 22 日（金）の間において、市内小中学校教職員、PTA 役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○「家庭の日」県民運動啓発

平成 31 年 2 月 1 日（金）～平成 31 年 2 月 28 日（木）広報に掲載しました。
スローガン「親と子の 対話がつくる よい家庭」

○中学校卒業式前夜パトロール（参加者 11 人）

市内各中学校卒業式（平成 31 年 3 月 5 日（火）の前夜の平成 31 年 3 月 4 日（月））、会場周辺の街頭パトロールを行いました。

※ 非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく、多様な交流の機会ができました。大人として、青少年の健全育成のためにどのような事ができるのかを考える契機となりました。

● 今後も学校の長期休業中を中心に青少年の非行撲滅の啓発活動を推進していきます。

■人権啓発推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、講演会を実施しました。

・日 時 平成 30 年 8 月 3 日（金） 午後 2 時～4 時

・場 所 甚目寺公民館大ホール

・講 師 宮本 延春氏

エッセイスト・元高校教諭・作家

・演 題 「オール 1 の落ちこぼれ、教師になる

～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～」

・参 加 者 570 名（対象／市内小中学校教職員、PTA 関係者、海部地区小中学校教職員他）

※ 講演を通じて、多くの方が人権問題の正しい認識と理解を深めることができました。

● 人権問題に係る正しい認識と理解を深めるため、令和元年度も事業を実施します。

■子ども・若者支援地域協議会事業

ニートや引きこもり、不登校や発達障害など、社会生活を営む上での困難を有する子どもや若者に対し、公的機関・民間団体等が連携して継続的な支援を実施す体制を整備するため、「あま市・大治町子ども・若者支援地域協議会」を設立し、協議会の運営にあたりました。

内容	期日・場所
関係機関各所への訪問	4月～7月
事前研修会	9月7日（金） 甚目寺公民館
協議会設置要綱告示	9月25日（火）
大治町と協議会設置に係る協定締結	10月24日（水） 市長公室
協議会設置及び公示	11月1日（木）
第1回代表者会議及び設立記念講演会	11月19日（月） シルバーカレッジ教室
第1回実務者会議	1月30日（水） 甚目寺公民館
第2回実務者会議	3月19日（火） 甚目寺公民館

※ 協議会の設立を通じて、ニートや引きこもり、不登校や発達障害など、社会生活を営む上での困難を有する子どもや若者に対し、公的機関・民間団体等が連携して継続的な支援を実施するための足掛かりとすることができました。

- 令和元年度は協議会の円滑な運営を図るとともに、子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う拠点となる「総合相談窓口」を来年度に設置すべく準備を整えます。

■地域学校協働活動事業

地域学校協働活動を推進するために、地域学校協働本部を設置し、地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの配置や地域学校協働活動の担い手となる地域ボランティアを確保する等、より多くのより幅広い層の地域住民の参画を得て、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行いました。

内容	地域 ボランティア	開催日	開催場所
七宝音頭の振り付け等の指導 （対象者：七宝小学校1・2年生）	5名	9月5日（水）	七宝小学校
運動会終了後のテント片付け	2名	9月23日（日・祝）	七宝小学校
運動会終了後のテント片付け	2名	9月23日（日・祝）	宝小学校
運動会終了後のテント片付け	2名	9月23日（日・祝）	伊福小学校
川部上水道配水場見学の引率	2名	10月30日（火）	伊福小学校 ⇄配水場
むかしあそびの会 （対象者：七宝小学校1年生）	9名	1月18日（金）	七宝小学校

※ 子どもたちには様々な地域住民とのふれあいを通じて、学びや体験活動を充実させることができました。地域住民にとって、自らの経験や知識を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会がつけられました。学校にとっては、様々な地域ボランティアが参画することにより、地域と学校との連携強化が図られました。

- 組織的かつ継続的に地域学校協働活動を推進するには、地域コーディネーター

の充実や資質向上、また地域ボランティアの確保が求められます。更には、地域学校協働活動への理解促進を図ることが必要であり、学校関係者、地域住民、保護者等への普及啓発をより一層推進していきます。

■社会教育団体育成事業

『あま市文化協会』

市民及び市内文化団体が日頃の芸術・文化活動の成果を発表し、市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することを目的とし、市の文化・芸能の発表を積極的に行っている「あま市文化協会」に対し補助金を交付しました。

○第9回あま市文化祭（あま市文化協会主催）

作品展示、生花展示、茶会

- ・日 時：平成30年11月3日（土・祝）、4日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場：七宝公民館、甚目寺公民館、美和文化会館
- ・参加者数：作品展示、生花展示 文化協会48団体612名、一般参加77名
茶会 文化協会6団体

芸能発表会

- ・日 時：平成30年11月3日（土・祝）、4日（日）午前10時～午後4時
- ・会 場：甚目寺公民館 大ホール
- ・参加者数：文化協会43団体551名、一般参加6団体148名

第9回あま市民囲碁大会

- ・日 時：平成30年11月11日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場：美和文化会館
- ・参加者数：文化協会3団体60名、一般参加2名

第9回あま市民将棋大会

- ・日 時：平成30年11月11日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場：七宝公民館
- ・参加者数：文化協会3団体44名、一般参加9名

『あま市女性の会』

女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展のために、多くの女性参加が得られるような各種事業を積極的に行っている「あま市女性の会」に対し補助金を交付しました。

○夏まつり盆踊り練習会

- ・日 時：平成30年7月7日（土）午後1時30分～午後3時30分
- ・会 場：甚目寺公民館 講義室1・2・3
- ・参加者数：100名

○主催講座「みんなで楽しく小物づくり」

- ・日 時：平成30年9月20日、27日（木）午後1時30分～午後3時
- ・会 場：甚目寺公民館 研修室
- ・参加者数：20名

○主催講座「干支の木目込人形作り」

- ・日 時：平成30年11月13日、20日（火）午前9時30分～正午
- ・会 場：甚目寺公民館 研修室
- ・参加者数：20名

※ 『あま市文化協会』については、市民が文化・芸能活動に触れる機会を設けたことにより、市民の自発的な学習活動の向上を図るとともに、地域住民相互の交流を深め、文化振興に寄与することができました。

『あま市女性の会』については、女性が各種事業に積極的に参加できる機会を設けたことにより、女性の社会参画や地域の交流が深まり、社会教育の発展に寄与することができました。

- 『あま市文化協会』について、文化祭を3会場別日開催すること等、文化祭の開催方法を検討していくことが望めます。

『あま市女性の会』について、県の女性の会での研修や他自治体の女性の会との交流を通して、一層の女性社会参画に有効な事業を展開することが望めます。

また、両団体について、事業目的及び市民協働の観点からみても、市の積極的な協力が不可欠と考えられます。両団体と市が協力し合いながらお互いを尊重し、補い合い、対等のパートナーとして、共通の目的のために事業に取り組む必要があります。

■歴史民俗資料館事業

あま市の歴史文化を認識する機会を各種事業にて提供しました。同時に市の歴史文化を発信し、子どもから大人まで幅広い年代層に郷土愛を育むきっかけを作り出しました。

○企画展示会

美和歴史民俗資料館と甚目寺歴史民俗資料館において企画展を実施し、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企画展名	開催場所	開催期間	入場者数
収蔵品展 ①山田双年の花鳥画展 ②レトロなおもちゃ展	①美和歴史民俗資料館 ②甚目寺歴史民俗資料館	4月8日(日) ～5月18日(金) 4月22日(日) ～6月30日(土)	①512名 ②524名
第28回 ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	5月28日(月) ～6月30日(土)	2315名
夏の企画展 ①パネル展示会「くらべてみたら！昔と今のあま市」 ②収蔵品展 食器と器の歴史	①美和歴史民俗資料館 ②甚目寺歴史民俗資料館	7月22日(日) ～9月30日(日) 8月3日(金) ～9月24日(月)	①883名 ②340名
秋の企画展 ①明治150年「明治のあま市」 ②パネル展示会「あま市の無形民俗文化財」	①美和歴史民俗資料館 ②甚目寺歴史民俗資料館	11月3日(土) ～12月9日(日) 同時期開催	①203名 ②220名
春の企画展 ①戦国武将の肖像とあま市の浮世絵コレクション ②文化財指定記念展「甚目寺説教源氏節 歩みとその神髄」	①美和歴史民俗資料館 ②甚目寺歴史民俗資料館	3月15日(金) ～4月21日(日) 同時期開催	①501名 ②378名

○歴史散策事業・歴史ガイド養成事業

市内各地に点在する史跡や文化財をめぐり、市の歴史を認識する機会を提供しま

した。また散策・見学事業を通し歴史ガイドボランティアの養成も同時に行いました。

事業名	見学地	開催日	参加者数
海部歴史研究会(*)主催 散策会 「藤ヶ瀬を歩く」	愛西市八開地区	5月19日(土)	37名
秋の歴史散策会 「井和村を歩く」 ～下田・川部を中心に～	七宝町下田～川部地区	10月21日(日)	15名
秋の散策会その2 「古地図を頼りにまち歩き」 ～あま市北部の森周辺を中心に～	森、方領	11月18日(日)	16名

(*) 海部歴史研究会とは海部津島7市町村の文化財担当者(各教育委員会所属)で構成される海部地域の歴史文化を研究する会で、30年度はあま市教委が幹事として会の運営を行いました。

○水文化継承事業(エコきっず調査隊)

小学生を対象として、地元の川や生物を調べることにより、市の水文化(田んぼ)の役割と、地域と水との関わり合いを知る機会を提供しました。

内容	開催日	参加者数
水質調査	7月24日(火)	延べ32名
木曽川調査 協力:国土交通省木曽川下流事務所	8月3日(金)	
エコきっずサミット 協働:蟹江町教育委員会	8月17日(金)	

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に周知する機会を提供しました。

講演名	講師(敬称略)	開催日	参加者数
大徳院の歴史について	堀江泰史 (大徳院住職)	5月12日(土)	50名
古時計の解説とその魅力について	宮崎照夫 (古時計コレクター)	5月27日～6月30日までの毎週土曜、日曜(8回)	計165名
「明治時代の海部津島地域」	園田俊介 (津島市立図書館館長)	11月25日(日)	48名
海部歴史講演会(*) 「近世への転換期と海部地域」	藤田達生 (三重大大学教授) 花井昂大 (蟹江町歴史民俗資料館学芸員)	2月9日(土)	364名
あまゼミナール	1限目:成田保弘 2限目:高木久宣 3限目:椰野多恵子 4限目:小林優太 5限目:当館職員	2月23日(土)	計155名

(*) 海部歴史講演会は海部津島7市町村の文化財担当者(各教育委員会所属)で構成される海部地域の歴史文化を研究する会の主催事業で30年度はあま市教委が幹事として会の運営を行いました。

○歴史文化体験講座

坐禅と写経、古文書解説など歴史文化体験講座を開催し、歴史の奥深さを学ぶ機会を提供しました。

講座名	講師（敬称略）	開催期日	場所	受講者数
カタロマイ 福島正則について	松井 誠 （歴史マスター）	5月20日（日）	シルバーカ レッジ教室	22名
坐禅に学ぶ	山田泰信 （菊泉院前住職）	①10月28日（日） ②11月4日（日） ③11月17日（土）	菊泉院本堂	各16名
古文書解説講座	藤井智鶴	6月～翌3月 （10回）	シルバーカ レッジ教室	各21名
しめ縄教室	竹田武夫	12月16日（日）	美和歴史民 俗資料館	20名

○学校支援事業 移動博物館および資料館見学

歴史民俗資料館の見学あるいは収蔵品を教室へ持ち出し、昔のくらしと生活道具についての授業を実施し、子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

実施日	学校名	内容
10月5日（金）	甚目寺西小学校	移動博物館
12月17日（月）	甚目寺小学校	甚目寺歴史民俗資料館見学
12月18日（火）	篠田小学校	移動博物館
1月22日（火）	七宝小学校	移動博物館
1月22日（火）	正則小学校	移動博物館
1月25日（金）	美和小学校	美和歴史民俗資料館見学
1月29日（火）	秋竹小学校	移動博物館
1月29日（火）	宝小学校	移動博物館
2月4日（月）	美和東小学校	移動博物館
2月12日（火）	伊福小学校	移動博物館
2月13日（水）	甚目寺東小学校	移動博物館

- ・対 象 3年生児童
- ・持ち出し資料 箱膳、ひのし、いずみ、釜、電話機、徳利、尋常小学校教科書など10点ほど。その他、学校側の要望に応じ適宜持ち出す。

○検定事業

検定を通して市の歴史文化を多くの人々に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。

第8回あま市ものしりジュニア検定

- ・期 間 平成30年12月下旬～31年2月1日
- ・会 場 市内各小学校
- ・対 象 小学6年生

- ・受 検 者 744名
- ・平 均 点 18.7点（25点満点）

あま市ものしりジュニア検定講習会

実施日	学校名	実施日	学校名
12月18日（火）	美和小学校	1月18日（金）	篠田小学校
12月19日（水）	七宝小学校	1月21日（月）	伊福小学校
1月9日（水）	美和東小学校	1月22日（火）	甚目寺東小学校
1月10日（木）	正則小学校	1月23日（水）	甚目寺西小
1月11日（金）	甚目寺南小学校	1月24日（木）	宝小学校
1月15日（火）	甚目寺小学校	1月25日（金）	秋竹小学校

第5回あま市ものしりジュニア選手権

- ・日 時 平成31年2月17日（日）午前10時30分～午後4時
- ・参加者数 30名（二人一組で申込み）
- ・対 象 市内小学4年～6年生児童
- ・会 場 七宝焼アートヴィレッジ交流ホール

第9回あま市ものしり検定

- ・日 時 平成31年3月3日（日） 午後2時～
- ・会 場 美和文化会館シルバーカレッジ教室
- ・受 検 者 39名
- ・合 格 者 31名
- ・備 考 2月24日（土）シルバーカレッジ教室にて事前講習会を実施しました。検定合格者にはオリジナルのピンバッジを贈呈し、過去4回以上の合格者2名に対し、あま市ものしりマスターの称号を贈りました。

※ あま市の歴史・文化を認識するための展示会および講演会等を実施し、郷土への理解と関心を高めるきっかけを作りだしました。

- 今後もこれらの事業により情報を発信し続けることにより、市内外の多くの人に、市の誇る歴史・文化を伝え広められるようにしていきます。

■文化財保護啓発事業

市民一人ひとりの文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内に点在する史跡、寺社の祭事等にあわせ各種事業を実施しました。

○文化財の指定

あま市の歴史文化を永く継承、保存するために文化財の指定を行いました。

- ・指 定 種 別 市指定有形民俗文化財
- ・指 定 名 称 甚目寺説教源氏節人形および正本 ^{つげたり} 附 その関連資料
- ・指定年月日 平成31年1月24日（木）
- ・点 数 275点（人形18点、正本83冊、音源記録・写真資料等174点）
- ・指 定 理 由 明治初年から昭和40年頃まで、旧甚目寺町西今宿周辺で執り行われてきた「甚目寺説教源氏節」に関する史料です。人形18体は

明治初期、初代家元である中村伝吉が大阪で購入したものであり、その死後も代々の家元に引き継がれ、最後の家元である6代目の自宅（西今宿）に長く保管されていたものを、平成22年に市へ寄贈いただきました。同様に正本83冊のうち28冊も6代目の所蔵であります。残り55冊は当地の源氏節に大きな影響を与えた名古屋説教源氏節のものではありますが、いずれも当地の源氏節を物語る貴重な史料となります。現在、当市における源氏節は、この6代目の死去（昭和48年）により消滅しました。これには郷土芸能という観点からの記録がとられていなかったことが大きな要因でもあります。ただし、今回指定された関連資料、人形、音源記録や伝世品等は、その活用次第で復活（復元）も充分可能であると考えられます。そのことから本史料の価値は高く、将来に渡り保存し調査研究されるべきものであることから指定文化財といたしました。

○指定文化財の公開

指定文化財の公開を通じ、文化財について理解、認識していただきました。

- ・公開した文化財 県天然記念物 下萱津のフジ公開事業
- ・公開日 平成30年4月29日（日）、30日（月・祝）
- ・協力 下萱津区、下萱津老人クラブ連合会、あまの神社仏閣へ行こう！プロジェクト（市民グループ）
- ・見学者 232名（花の開花が例年より1週間ほど早いため、特別に4月22日（日）も公開し、77名の来場者がありました）

○文化財の保護活動

文化財を火災、災害から守るために消防訓練を実施しました。

- ・名称 第65回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練
- ・日時 平成31年1月23日（水） 午前10時～11時
- ・参加者 海部東部消防署20名、市消防団8名、甚目寺観音自衛団10名
甚目寺小学校4年生 約100名

○文化財の調査

文化財を専門的に調査し、文化の継承に役立てました。

- ・名称 オコワ祭の映像記録調査（市指定無形民俗文化財）
- ・調査機関 尾張西部のオコワ祭映像記録製作委員会
- ・調査年 平成28年度から30年度
- ・記録媒体 映像記録DVDを完成させました。タイトルは「尾張西部のオコワ祭～早春に幸いを呼ぶ祭り～」で、下之森編30分を収録、神事の全体を解説しています。

○見学会（無形民俗文化財）

無形民俗文化財の見学会を通して、市の文化財保護への取組について理解を得る機会を提供しました。

題名	見学地	開催日	参加者数
あま市無形民俗文化財見学ツアー 「二十五菩薩お練り供養」	蓮華寺	4月15日（日）	14名

あま市無形民俗文化財見学ツアー 「萱津神社と香の物祭」	萱津神社	8月21日(火)	11名
あま市無形民俗文化財見学ツアー 「湯の花神事と木田の山車」	木田八剣社	10月14日(日)	12名
あま市無形民俗文化財見学ツアー 「下之森オコワ祭」	下之森八幡社	2月11日(月)	8名

○講演会

文化および指定文化財に関する講演会を開催しました。その活用や文化財について認識する機会を提供しました。

講演名	講師（敬称略）	開催日	参加者数
歴史文化を活かした地域おこし	高橋賢次 (いなべ市立田地区秀真ふるさと農園理事長)	2月24日(日)	15名
市指定文化財記念講演会 「耳で聴く甚目寺説教源氏節」	加納克己 (人形芸能史研究所々長)	3月17日(日)	25名

○刊行物

市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

刊行物名	内容	備考
甚目寺説教源氏節人形調査報告書	甚目寺説教源氏節の歴史と甚目寺資料館所蔵の人形・正本の史的価値を。	A4版、32頁 500部
ニュースレター No.009	資料館の年間活動等の報告。毎年1回3月に発行する。	A4版、6頁 500部

※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、文化財防火デーにおける消防訓練の実施により、市民に対して文化財保護の意識を高めることができました。

● 幅広い世代に地域の歴史を伝え広められるよう新年度も継続して各種事業を実施します。

■美和文化会館事業

各種講座・教室、イベント事業などを開催し、文化・芸術に親しむ機会を提供するとともに、文化会館利用の促進を図りました。

○文化教室

事業名	開催日	定員	受講者数	申込者数	会場
アロマヨガ (6回コース)	4月6日・20日、5月11日・25日、6月1日・15日(金)	25名	15名	15名	アートスペースM
初心者向けのやさしいヨガ (6回コース)	4月11日・25日、5月9日・23日、6月13日・27日(水)	25名	11名	11名	アートスペースM
アロマヨガ (6回コース)	7月6日・20日、8月3日・31日、9月7日・21日(金)	25名	14名	14名	アートスペースM 他

初心者向けの やさしいヨガ (6回コース)	7月11日・25日、8月8日・22日、9月12日・26日(水)	25名	9名	9名	アートスペースM 他
ハーバリウム教室	6月23日(土)	35名	35名	35名	アートスペースM
ほぐしのヨガ無料体験	9月25日(火)	30名	28名	28名	アートスペースM
夏休み子ども絵画教室	8月23日(木)	20名	4名	4名	多目的ホール
アロマヨガ (6回コース)	10月5日・19日、11月16日・30日、12月7日・21日(金)	25名	22名	22名	アートスペースM 他
初心者向けの やさしいヨガ (6回コース)	10月10日・24日、11月7日・21日、12月12日・26日(水) (11月7日は講師都合により中止)	25名	20名	20名	アートスペースM 他
ほぐしのヨガ (6回コース)	10月9日・23日、11月13日・27日、12月11日・25日(火)	25名	4名	4名	アートスペースM 他
はんなりカラーの 正月飾り	12月15日(土)	20名	14名	14名	多目的ホール
缶ぽっくり	12月22日(土)	20名	21名	21名	多目的ホール
子ども書初め教室	12月25日(火)	15名	6名	6名	多目的ホール
アロマヨガ (6回コース)	1月11日・18日、2月1日・15日、3月1日・22日(金)	25名	16名	16名	アートスペースM 他
初心者向けの やさしいヨガ (6回コース)	1月16日・30日、2月6日・20日、3月13日・27日(水)	25名	17名	17名	アートスペースM 他
ほぐしのヨガ (6回コース)	1月22日・29日、2月5日・26日、3月12日・26日(火)	25名	8名	8名	アートスペースM 他
キラキラ輝く ハーバリウム	3月30日(土)	30名	16名	16名	多目的ホールA

○イベント事業

事業名	出演者(敬称略)	開催時期	参加者数	会場
あま音楽祭 2018	あま市ゆかりのシンガーソングライター & 高橋誠	8月26日(日)	350名	大ホール
親子ふれあい上映会 ・ミニオンズ	「怪盗グルーのミニオン大脱走」	9月1日(土)	135名	大ホール
愛知室内オーケストラ ・公開リハーサル	愛知室内オーケストラ	9月13日(木)	69名	大ホール
あま室内弦楽アンサンブル演奏会	照喜名一男	10月7日(日)	329名	大ホール
クリスマスジャズ コンサート 2018	高橋誠 他	12月2日(日)	564名	大ホール

ロビーコンサート	高橋誠 他	12月2日（日）	150名	1 階ロビー
文化の杜ミュージカルショー 子供たちのための芸術劇場	高蔵高等学校・中学校演劇部	12 月 16（日）	468 名	大ホール
子ども狂言	「おそそ仁王」	2 月 11 日 （月・祝）	309 名	大ホール
0 歳クラシックコンサート	愛知室内オーケストラ	3 月 16 日（土）	384 名	大ホール
名曲コンサート オーケストラの魅力	愛知室内オーケストラ	3 月 16 日（土）	161 名	大ホール
柳田理科雄 サイエンスショー	柳田理科雄	3 月 24 日（日）	235 名	大ホール

※ これらの講座・イベント等の開催により、文化・芸術に親しむ機会を提供しました。

- 平成30年度の実績を踏まえながら、令和元年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催していきます。

■美和図書館事業

企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

事業名	実施内容	期間	会場
特別展示	「篆刻と切り絵（文字）展」 篆刻作品と道具・材料などをあま市の松井誠氏からお借りし関連図書とともに展示した。	4月7日（土） ～5月27日（日）	図書館内 展示ケース
	「しかけ絵本展」 館内所蔵のしかけ絵本14冊を展示した。	6月2日（土） ～6月24日（日）	
	桐原いづみ原画展 あま市出身の漫画家・桐原いづみ氏の原画展作品『サボテンの娘』『君の臍臓をたべたい』から展示した。	7月1日（日） ～9月30日（日）	
	「湯の花神事と木田の山車ぞろえ」 湯の花神事と木田の山車ぞろえの写真をあま市民からお借りして展示した。	10月13日（土） ～11月25日（日）	
	「郷土玩具・亥展」 美和図書館所蔵の大照コレクションより、今年の干支である亥の郷土玩具を展示した。	12月1日（土） ～1月27日（日）	

○講座・講演会・読み聞かせ

事業名	実施内容	回数	参加者	会場
春の図書館まつり	ブックリサイクル 本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった図書や図書館の除籍資料を持ち帰っていた。	1回	約350名	美和文化会館 1 階ロビー
	グー・チョキ・パーのおはなし会&工作 図書館ボランティアにより幼児・児童向けおはなし会と工作を行った。	1回	47名	美和文化会館 2 階ロビー

	親子ふれあい 映画会	「忍たま乱太郎の宇宙大冒険」 「BALLAD名もなき恋のうた」 の上映を行った。	1回	134名	美和文化会館 多目的ホール A B C
	鐵道模型展示走行会	尾張鐵道俱樂部の方々に来て いただき、鐵道模型をレールやミニ チュアの景色の中、走らせた。	1回	150名	美和文化会館 アートスペース M
	みわおもちゃ病院	「みわおもちゃ病院」の方々に 来ていただき、一般の方が持っ てきたおもちゃの修理を行なった。	1回	50名	美和文化会館 2階ロビー
七夕飾り		日本の季節を楽しむ行事として、 願い事を短冊に託し、図書館エン トランスに設置した笹に飾った。	1回	約300名	図書館内 美和文化会館 1階ロビー
夏の読書ラリー		小学生から高校生までが対象。期 間中に来館し、自分のカードで貸 出をすると一日に1回スタンプを 押印。5個と8個のスタンプでプレ ゼントを渡した。	1回	834名	図書館内
わたしの一押し本		9月9日～10月14日迄に本の紹介 文、読書絵を募集、応募総数79 枚となった。10月28日図書館祭に 掲示、10月28日～11月30日に投票 を行い、12月8日に優秀作品7枚 を発表した。	1回	300名（応 募者71名 含む）	図書館内
講演会		演題：「西郷隆盛の謎」～西郷ど んのなぞ・ナゾ・謎～ 講師：京都・霊山歴史館副館長、 木村幸比古氏 大河ドラマで放送されている西 郷隆盛に関するお話をしていた だいた。	1回	154名	美和文化会館 多目的ホール A B C
秋の 図書館 まつり	ブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般 家庭で不要になった図書や図書 館の除籍資料を持ち帰っていた だいた。	1回	約750名	美和文化会館 1階ロビー
	本の福袋	図書館員おすすめの図書3冊を書 名がわからない状態で袋に入れ、 袋ごと貸出を行った。	1回	15名	図書館内
	グー・チョキ・パー のおはなし会	シフォンを使ったわらべうた、大 型絵本、紙芝居、紙皿シアター、 フーフーロケット工作を行った。	1回	60名	美和文化会館 2階ロビー
	バルーンアート	「あま市レクリエーション協会」 の方にバルーンアートを見せて いただき、できた風船を子ども達 に分けた。	1回	50名	美和文化会館 1階ロビー
	「和のつどい」コン サート	日本舞踊、どじょうすくい、民謡、 三味線、紙芝居「甚目寺説教源氏 節 三庄太夫都落ちの段」を行っ た。	1回	68名	美和文化会館 多目的ホール A B C
	わたしの一押し本 展示	利用者がかいたおすすめ本の紹 介文や読書画の展示を行った。	1回	71名	図書館内

	図書館ラリー	図書貸出、輪投げ、的当てゲームを行なうと飴のつかみ取りが出来るラリーを行った	1回	143名	美和文化会館 1階ロビー
	鉄道模型ジオラマ	尾張鉄道倶楽部の方々に来ていただき、鉄道模型をレールやミニチュアの景色の中、走らせた。走行の映像、鉄道写真アルバムの展示を行った。	1回	125名	美和文化会館 アートスペース M
	みわおもちゃ病院	「みわおもちゃ病院」の方々に来ていただき、一般の方が持ってきたおもちゃの修理を行った。	1回	37個	美和文化会館 2階ロビー
	販売ブース	あま市市民活動団体の「あま市有機農業ネットワーク」「Piccolo」が野菜とパンの販売を行った。	1回	約150名	美和文化会館 1階ロビー
	インスタグラムコーナー	ハロウィン向けのフォトスポット、インスタグラムコーナーを設けた。	1回	約50名	美和文化会館 1階ロビー
	ゆるキャラの参加あまえん坊（あま市サクサク盛り上げ隊）、アマゾネス（あま市商工会青年部）	図書館内を除く各イベントへ顔を出していただき、参加者とともにお祭りを楽しみ、撮影などを行った。	1回	約350名	美和文化会館
	大人の読書手帳	大人用に読書手帳を作成・配付し、利用者の読書促進につなげた。	1回	182人	図書館内
	確定申告会場への図書設置	確定申告会場に来場される方に向けて図書館の蔵書を設置、案内をした。	1回	-	市役所本庁舎 2階大ホールおよび第3・4会議室
ワークショップ	紙皿で作る「簡単！くるくるシアター」	講師：図書館スタッフ 紙皿で創作紙芝居を作製した。	1回	1名	美和文化会館 会議室
	「一日図書館員」	講師：図書館スタッフ 小学4年生から中学生対象に図書館の仕事を体験した。	2回	各6名	美和文化会館 会議室 図書館内
	「親子で紙ヒコーキを飛ばそう！」	講師：神田吉男氏 紙ヒコーキのデモンストレーション、3種の紙ヒコーキ作りと飛行距離競い、親子で紙ヒコーキのキャッチボールなどを行った。	1回	37名	美和文化会館 多目的ホール A B C
	「ロコモ予防」～いつまでもピンピン元気に暮らすために～	講師：あま市健康推進課保健師 日常的に気軽にできる運動や歌に～	1回	14名	美和文化会館 多目的ホール C

初めての本のフィルムコーティング	講師：図書館スタッフ 図書館の本の保護のために施している”フィルムコーティング”を行った。	1回	7名	美和文化会館 会議室
大人の手芸「ダーニングでかわいく繕う」	講師：図書館スタッフ 虫食い穴、破れ、シミなどができてしまった衣類や小物を「ダーニング」という方法で繕い、修理した。	1回	7名	美和文化会館 会議室
学習室開設	夏休み期間中、学習室を開設した。	1回	延べ 413名	美和文化会館 アールスペース M
シルバーカレッジ	図書館スタッフを派遣し、あま市シルバーカレッジ「読書で交流～本を読む・伝える楽しさ～」を行った。	1回	45名	美和文化会館内 シルバーカレッジ 教室
ボランティア講座	講師：山田肇子氏「児童書について」 講師：柴田友弥氏「ボランティアをすることについて」	2回	26名 24名	美和文化会館 多目的ホール A B C
読書ボランティア講座	図書館スタッフを派遣し、「子どもたちに絵本の楽しさを」を行った。	1回	7名	美和文化会館内 シルバーカレッジ 教室

○読書ボランティア講座

事業名	事業内容	回数	参加者	会場
読書ボランティア講座	子どもたちに絵本の楽しさを	1回	7名	美和文化会館内 シルバーカレッジ 教室
	小物作りとブックトーク	1回	13名	美和文化会館内 シルバーカレッジ 教室
	わらべうた	1回	7名	美和文化会館内 シルバーカレッジ 教室
	子どもと絵本と大人	1回	68名	美和文化会館 2階多目的ホール

○図書館利用者数・年間貸出冊数（点数）

図書館	利用者数（前年）	年間貸出点数（前年）	蔵書点数
美和図書館	62,411名（60,190名）	237,908点（229,010点）	127,612点

※ これらの事業、読み聞かせ等を通じて、本を読む楽しさを伝えることができました。

● 平成30年度の実績を踏まえながら、令和元年度も継続して講座を開催していきます。

(3) スポーツ課

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室を実施しました。

教室名	期間	実施場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室（前期）	5月15日～ 7月3日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	19組	親子が一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、運動の基本を習得することを目的として実施しました。
親子体操教室（後期）	10月9日～ 11月27日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	23組	
親子体操教室①	6月5日～ 2月26日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	10組	
親子体操教室②	6月12日～ 3月5日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	19組	
親子体操教室③	6月12日～ 3月5日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	22組	
ボクシングエクササイズ教室	5月22日～ 6月26日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	30名	ボクシングエクササイズを通して健康な生活を送ることを目的に実施しました。
肩こり・腰痛ケアストレッチ教室	10月23日～ 11月27日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	26名	各家庭でも行える肩こり・腰痛のケアストレッチを目的に実施しました。
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～①	10月4日～ 12月13日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	学童の成長や発達過程から「動作の習熟」を主眼に置き、楽しくからだを動かすことを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～②	10月4日～ 12月13日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	5名	
はつらつ健康教室～シニア運動教室～	10月4日～ 12月13日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	60歳以上	10名	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施しました。
健康・体力づくり教室～総合体育館トレーニング室を利用しよう～	10月6日～ 11月24日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生以上	10名	トレーニング室を利用し、器具の正しい使い方、効果的なトレーニング方法の習得を目的として実施しました。
小学生夏休みスポーツ教室（団体スポーツ教室）	7月27日～ 8月24日 毎週金曜日	美和公民館	5回	小学生	30名	小学生を対象にドッジボールを行いながら、団体で行動すること

小学生夏休みスポーツ教室 (団体スポーツ教室)	8月1日～ 8月29日 毎週水曜日	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	30名	の楽しさを教える教室を実施しました。
小学生夏休みスポーツ教室 (フットサル教室)	7月20日～ 8月31日 金曜日	七宝 総合体育館	5回	小学生	20名	小学生を対象にフットサルを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。

※ 各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

- 令和元年度も引き続き教室受講者にアンケートを取り、市民ニーズにあった教室を企画していきます。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、まちの活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、事業を実施しました。

行事・大会名	期日	曜日	実施場所	参加者数	内容
市民ラジオ体操の集い	5月27日	日	美和中学校運動場	370名	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施しました。
	6月24日	日	甚目寺総合体育館 野外ステージ	250名	
	7月22日	日	七宝北中学校運動場	339名	
市民歩け歩け会	10月28日	日	滋賀県犬神郡多賀町	141名	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
市民走ろう・歩こう会	1月27日	日	木曽三川公園東海広場	400名	木曽三川公園にて走ったり歩いたりして、健康及び体力の保持・増進を目的に実施しました。

※ 市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりやまちの活性化に資することができました。

- 参加者からのアンケートを参考にスポーツ推進委員会で協議し、より多くの市民が参加したくなるような事業内容を設定していきます。

■その他スポーツ事業

○夏休み学校プール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	期日	実施場所	参加者数	内容
夏休み学校プール 開放事業	7月21日～ 8月4日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	延べ 2,231名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

- 令和元年度も児童生徒にプール遊泳の機会を提供し、体力向上と健康増進に寄与していきます。平成30年度よりプール開放期間を夏休み初日から15日間に変更した結果、利用者が平成29年度1,035名から2,231名に増加しましたので、令和元年度も引き続き夏休み初日からプール開放します。

○総合型地域スポーツクラブ

(一般会員 337 名, 応援会員 727 口, 賛助会員 43 口, 特別賛助会員 2 口)

年間講座

種目	時間帯等	場所	対象	参加者数
バランスボール	毎月第2・4火曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 会議室1・2	一般	22名
ラージボール卓球A	毎月第1・3水曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	26名
ラージボール卓球B	毎月第2・4水曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	26名
脳も鍛える健康体操	毎月第2・4水曜日 13時30分～15時	上萱津コミュニティ防 災センター1階研修室	一般	16名
健康フラダンス入門	毎月第1・3水曜日 13時30分～14時30分	篠田防災コミュニティ センター第2会議室	一般	14名
健康フラダンス上級	毎月第1・3水曜日 14時45分～15時45分	篠田防災コミュニティ センター第2会議室	一般	5名
キッズ(ケイキ)フラダ ンスA	毎月第2・4水曜日 15時～15時45分	篠田防災コミュニティ センター第2会議室	3歳～5歳	4名
キッズ(ケイキ)フラダ ンスB	毎月第2・4水曜日 16時～17時	篠田防災コミュニティ センター第2会議室	小1～2年	4名
のびのび運動 たまご (キッズ体操教室)	毎月第2・4水曜日 13時30分～14時15分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	2歳～未就 園児と保護 者	13組
のびのび運動 ひよこ (キッズ体操教室)	毎月第2・4水曜日 16時～17時	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	3歳～5歳	29名
スポーツ吹き矢	毎月第2・4木曜日 13時30分～15時	上萱津コミュニティ防 災センター1階研修室	一般	17名
シニアヨガ	毎月第2・4木曜日 9時30分～10時30分	七宝総合体育館 剣道場	一般	24名
骨盤コンディショニング	毎月第2・4木曜日 10時45分～11時45分	七宝総合体育館 剣道場	一般	22名
アロマヨガ	毎月第1・3金曜日 9時30分～11時	七宝総合体育館 剣道場	一般	21名
シルバーエクササイズ	毎月第2・4金曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	60歳以上	37名

ジュニアバレーボールA	毎月第1・3金曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館 他	中学生女子	25名
ジュニアバレーボールB	毎月第2・4金曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館 他	中学生男子	15名
ビューティーヨガ	毎月第1・3金曜日 19時～20時30分	七宝総合体育館 剣道場	一般	26名
バドミントン入門	毎月第1・3土曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館 他	小学3年以上（初心者のみ）	32名
バドミントン上級	毎月第2・4土曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館 他	小学3年以上	29名
ジュニア卓球A	毎月第1・3土曜日 19時～20時30分	七宝中学校体育館 他	中学生	12名
ジュニア卓球B	毎月第2・4土曜日 19時～20時30分	七宝中学校体育館 他	中学生	12名

特別講座

種目	時間帯等	場所	対象	参加者数
チベット体操（前期）	5月～7月の全5回 9時30分～10時30分	あまスポーツクラブ 交流ホール	一般	中止
チベット体操（後期）	10月～12月の全5回 9時30分～10時30分	あまスポーツクラブ 交流ホール	一般	中止
走り方講座（高学年）	5月の全2回 19時から20時30分	七宝北中学校運動場	小学4年～6年	26名
かけっこ教室（低学年）	7月の全2回 19時から20時30分	七宝北中学校運動場	小学1年～3年	31名
やさしい護身術合気道	7月～8月の全7回 18時30分～20時	七宝総合体育館 柔道場	一般	中止
ママとはじめての体操	5月～7月の全5回 10時～11時	美和公民館 和室	1歳～3歳とその保護者	5組
夏休み子どもわくわくクラブ	7月～8月の全5回 9時30分～11時	クラブ事務所交流ホール 他	小学生	23名
生き生きはつらつ生活応援講座	毎月第1木曜日 13時30分～15時	美和情報ふれあいセンター学習室1・2 【4月～7月】 甚目寺公民館教養室 【8月～11月】 七宝総合体育館ミーティング室（大） 【12月～3月】	30歳以上	8名
わいわい！みんなでビーチボール	毎月第4土曜日 10時～11時30分	美和東小学校体育館 他	一般（小学生以上）	36名
わくわくりズム新体操（美和）	毎月第1土曜日 10時～11時	篠田防災コミュニティセンター第2会議室	心身の発達の遅れ又はそのおそれがある満3歳から小学校低学年までの児童とその保護者	14組

イベント事業

種目	時間帯等	場所	対象	参加者数
第４回あまちゃんラージ ボール卓球大会	５月１３日（日）	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	２６８名
バレーボールクリニック	６月１０日（日）	七宝総合体育館 アリーナ	中学生	１２３名
ラダーゲッター大会	９月２日（日）	美和公民館講堂兼体育 場	小学生以上	１６組

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○七宝プール観覧席屋根撤去工事

- ・事業内容 台風２１号によりプール南側観覧席屋根が倒壊し、今後発生する台風等による二次災害を防ぐため屋根の解体及び撤去をしました。
- ・事業費 ７５６，０００円

○蜂須賀グラウンド少年用サッカーゴール購入

- ・事業内容 蜂須賀グラウンドに設置している少年用サッカーゴールが経年劣化により安全に使用できないため、購入しました。
- ・購入金額 ３７３，０００円

○甚目寺総合体育館 直流電源装置用蓄電池取替工事

- ・事業内容 直流電源装置用蓄電池は、災害等の停電時に必要であるため設置しておりますが、１１年経過しており蓄電池の寿命を超えているため取替工事を行い、緊急時に備えました。
- ・事業費 １，２９６，０００円

○七宝総合体育館 １階多目的トイレベビーシート設置工事

- ・事業内容 七宝総合体育館にオムツを取替えるためのベビーシートが無いいため、設置しました。
- ・事業費 ２４６，２４０円

○甚目寺プール解体工事監理委託業務

- ・事業内容 甚目寺プールを安全に解体できるよう設計を委託しました。
- ・事業費 １，６２０，０００円

○甚目寺プール解体工事

- ・事業内容 休止中である甚目寺プールは老朽化が著しく、防犯・環境衛生上問題があるため解体しました。工事期間は平成３０年９月１１日から平成３１年２月２８日までです。工事は平成３１年２月２２日に完了しました。
- ・事業費 １００，４４０，０００円

○美和グラウンド防球ネット増設工事

- ・事業内容 美和グラウンド防球ネットの西南側が他に比べ低いため増設し、市民が安全に安心してスポーツを楽しめる環境を整備しました。
工事期間は平成30年12月21日から平成31年1月31日までです。工事は平成31年1月31日に完了しました。
- ・事業費 1,944,000円

○グラウンド整備事業

- ・事業内容 グラウンドに土入れやにがりを散布し、グラウンドを整備することによりスポーツを行う環境を整えました。
- ・事業費 1,053,000円

○美和グラウンドダッグアウト整備工事

- ・事業内容 平成30年9月の台風21号の影響で損壊した美和グラウンドB面のダッグアウトを修繕しました。
- ・事業費 578,448円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

- 令和元年度も市民が安全かつ快適にスポーツ活動ができるよう、体育施設整備を進めていきます。

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○親子料理教室の開催

家庭での食に対する関心を高めるために、親子料理教室を開催しました。調理の楽しさを親子で体験してもらい、学校給食や食に対する理解、関心を深められるように、給食で人気の献立や、家庭で簡単に作ることのできる料理を題材とした。

事業名	場 所	開催日	受講者数	申込者数
親子料理教室	美和公民館	8月7日(火) 8月8日(水)	24組57名	149組

○学校での食に関する指導

児童生徒の食への興味・関心の高揚、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が指導計画を作成し、各学校で学級担任とTT授業を行いました。

- ・給食を生きた教材として活用し、指導しました。
- ・毎月、献立表や給食だより、盛り付け図などを配布することに加え、保護者及び教職員を対象に食育だより・食育メッセージを発行し、給食を通して食への関心を高めました。
- ・毎日学校に出向いて直接指導するかわりに、栄養教諭・学校栄養職員が給食放送原稿を作成しました。

○学校での健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

学校保健委員会

学校名	参加日
七宝小学校	7 月 11 日（水）

給食試食会

学校名	参加日	参加者数
七宝小学校	平成 30 年 5 月 25 日（金）	45 名
宝小学校	5 月 16 日（水）	34 名
伊福小学校	6 月 20 日（水）	55 名
秋竹小学校	10 月 12 日（金）	20 名
美和小学校	5 月 22 日（火）	51 名
正則小学校	11 月 30 日（金）	26 名
篠田小学校	5 月 16 日（水）	40 名
美和東小学校	5 月 24 日（木）	68 名
甚目寺小学校	5 月 21 日（月）	65 名
甚目寺南小学校	9 月 27 日（木）	57 名
甚目寺東小学校	10 月 10 日（水）	53 名
甚目寺西小学校	5 月 9 日（水）	42 名
美和中学校	11 月 8 日（木）	16 名
甚目寺中学校	10 月 10 日（水）	15 名
甚目寺南中学校	5 月 30 日（水）	24 名

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
平成 30 年 4 月 3 日（金）	5 月分献立検討会
4 月 13 日（金）	5 月分物資選定委員会
4 月 27 日（金）	6 月分献立検討会
5 月 15 日（火）	6 月分物資選定委員会
6 月 1 日（金）	7 月分献立検討会
6 月 13 日（水）	7 月分物資選定委員会
6 月 26 日（火）	第 1 回学校給食センター運営委員会
7 月 4 日（水）	9 月分献立検討会

7月26日(木)	9月・後期分物資選定委員会
9月4日(火)	10月分献立検討会
9月12日(水)	10月分物資選定委員会
10月2日(火)	11月分献立検討会
10月16日(火)	11月分物資選定委員会
11月2日(金)	12月分献立検討会
11月14日(水)	12月分物資選定委員会
11月30日(金)	1月分献立検討会
12月12日(水)	1月分物資選定委員会
12月20日(木)	2月分献立検討会
平成31年1月11日(金)	2月分物資選定委員会
1月30日(水)	3月分献立検討会
2月12日(火)	3月分物資選定委員会
2月13日(水)	第2回学校給食センター運営委員会
3月1日(金)	4月献立検討会
3月12日(火)	4月・前期分物資選定委員会

※ 親子料理教室では、児童が保護者や他の児童と一緒に作業することで、調理の楽しさを知り、家庭での食に対する興味・関心を高めることができました。

各学校では、学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭・学校栄養職員が各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり話をしたりすることで現状を把握し、献立に取り入れることができました。また、児童生徒への直接指導に加え、栄養教諭・学校栄養職員が、各学校の健康教育の取組に関わることで、食を話題として取り上げる機会を増やすことができ、児童生徒・教職員が食への関心を持つことができました。

- 今後も、親子料理教室を開催し、各学校では、栄養教諭・学校栄養職員が、各学校の健康教育の取組への参加や、児童生徒への直接指導を通して、児童生徒、教職員及び保護者の食に対する興味・関心を高める食育を推進していきます。

■新学校給食センター整備事業

令和元年9月の供用開始に向け、新学校給食センター整備事業を次のとおり実施しました。

- ・事業内容
 - ①美和プール跡地への新学校給食センター新築工事
 - ②上記工事に伴う事前調査
 - ③上記工事に伴う基本設計・実施設計
 - ④上記工事に伴う工事監理
 - ⑤調理設備調達・搬入設置
 - ⑥事務備品等調達・搬入設置
 - ⑦開業支援

- ・事業費 2,982,920,040円

(平成30年5月9日付及び平成31年3月7日付で契約変更)

○新学校給食センター新築工事

平成29年度に作成した設計図書に基づき、新築工事に着手しました。

①着 手 平成30年5月10日

②出来形検査 平成31年3月19日 (出来形 30.05%)

○あま市学校給食センター調理・配送等業務プロポーザル審査委員会

あま市学校給食センター調理・配送等業務プロポーザル審査委員会を立ち上げ、プロポーザル方式にて、あま市学校給食センター調理・配送等業務の受託候補者を決定しました。

・委員構成

①あま市教育部長

②あま市保育士長

③教育委員会委員代表

④愛知県教育委員会栄養教諭

⑤愛知県教育委員会栄養教諭

⑥学識経験者

⑦学識経験者

・開催概要

①10月9日 第1回審査委員会を開催

→業務概要の説明及び受託候補者決定基準を審議しました。

②10月12日 第2回審査委員会を開催

→受託候補者決定基準及び事業者選定方法を審議しました。

③1月7日 第3回審査委員会を開催

→事業者提案内容について意見交換しました。

④1月10日 第4回審査委員会を開催

→事業者のプレゼン及びヒアリングを行い、受託候補者を選定しました。

○新学校給食センター整備事業発注者支援業務

新学校給食センターの令和元年9月供用開始を目指すにあたって、より良いセンターとするため、専門的知識を活用しました。

・事業内容 建設工事監督補助及び設計監理支援業務等

・事業費 16,612,560円

※ 施設面では、設計図書に基づき、工事に着手し、運営面では、プロポーザル方式により調理・配送等業務の運営事業者を決定し、契約しました。新学校給食センター整備事業を円滑に実施することができました。

● 引き続き、令和元年9月供用開始に向け、施設整備を進めていきます。運営面についても、栄養教諭・学校栄養職員との連携を図りながら、運営事業者と協議・調整を進めていきます。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	平野 隆雄（元弥富市立桜小学校長）
--------	-------------------

あま市では、教育のあり方を絶えず見直し、時代の変化とともに変えていくべきものを見極めながら、柔軟な教育行政を展開している。

学校教育において具体的な例を示すと、平成29年度より三学期制から二期制への移行、学校評議員会から学校運営協議会（コミュニティ・スクール）への組織体制変更、教職員の出退勤時のタイムカードの導入などの新たな取組が見られる。

このような新たな取組はもとより、「あま市教育大綱」に示された教育分野の6つの重点施策及びあま市教育立市プランの着実な具現化とその成果と課題を明らかにする、客観的で適正な点検・評価を期待して止まない。

○ 学校教育課について

1 スクールサポーター配置事業

児童生徒に確かな学力をつけることは、あま市教育大綱の重点政策の1つである。とりわけ、障がいのある児童など、特別な支援を必要とする児童生徒に対する個に応じたきめ細かい学習支援などの必要性は年々増加している。あま市のスクールサポーター配置事業は、信頼できる人材を任用し、配置人数も充実してきている。

2 二期制

平成29年度から市内5中学校で実施され、さらに、平成30年度から市内全小学校でも実施されている。二期制の導入により成績処理や通知表作成の時間が、三学期制より確実に減り、教員の多忙化解消の一手段になっているというメリットがある。

平成31年2月実施の保護者アンケート結果を一部公表し、二期制導入の成果と課題の把握に努めようとしている点は、一定の評価ができる。しかしながら、アンケートの内容は、従来の学校評価アンケートの内容と大差なく、三学期制と比べた上での二期制のメリット・デメリットを問うものとは言い難い。児童生徒のことを最優先に考えた検証と改善ができるアンケート内容に改善していく必要がある。

3 英語教育の推進

令和2年度に英語が教科として本格的に小学校に導入される。あま市では小中学校の英語指導助手（ALT）と県費の専科教員（邦人）の配置がなされ、生きた英語が各教室で響いている。しかしながら、実際の指導では担任がALTや専科教員に依存してしまう傾向にある。今後、令和2年度を見据え、TT指導をする担任の指導力向上のための研修、担任とALTや専科教員との連携強化、さらには、基本的な指導計画・カリキュラムの作成と指導体制づくり及び適正な評価に向けての取組を着実に進めていかなければならない。

4 教育相談センター事業

「学校教育支援」、「教育相談活動」、「不登校などの指導及び支援」を3つの柱として事業を行っている。

いじめや不登校問題などの教育相談や適応指導教室の必要性・重要性が高まる近年、教育相談センター職員は、着実に成果を上げている。特に、学校不適応などの生徒への支援は、専門員による児童生徒や保護者に対する適正な助言と指導、心理支援相談、面接相談と職員の熱意ある対応が成果を上げ、多くの児童生徒の自立及び学校生活への自発的復帰、そして、卒業後の社会復帰・就労を実現している。

令和元年度新設予定の「子どもの自立を支える親の会」は、同じ悩みをもった親同士の情報の交換・共有、親の居場所づくりに向けての役割を期待したい。

5 Ama Teachers College

「教師は五者たれ」という教師五者論がある。五者とは、学者、医者、易者、役者、芸者を指すが、それだけ教師には総合的な資質・技量が必要だと言われる。しかし、近年は、この五者としての資質・技量だけでは不十分で、保護者などのクレームに適切に

対応する技量も必要だとも言われている。Ama Teachers College は、教師に必要な総合力・人間力を培う上で大きな支えとなる、充実した研修講座として評価できる。

6 小中学校適正規模等見直し検討事業

該当地区の地域住民や保護者などに児童生徒数の推移や適正規模見直しのメリット等のデータを示しながら説明しても、容易にコンセンサスを得られないのが現状である。やはり、「おらが学校」という意識が根強く、旧来の学区の変更を受け入れることに抵抗を示すことは、あま市以外のケースを見ても珍しくない。

従って、地域の伝統的なお祭りや子ども会行事などの存続・改廃も含めて、様々な視点から考え抜いた具体案を提示し、当該地域住民や保護者などへの懇切丁寧な説明が求められる。そして、決して結論を急がず、検討委員会で時間をかけて十分な審議を行うことが肝要である。そのためには、地域の関係者や各界の保護者識者に、検討委員会へのアドバイザー参加やオブザーバー参加を認めるなどの弾力的な方策をとることも視野に入れていきたい。

七宝北中学校の学校規模適正化に向けて、美和東小学校区、篠田小学校区、七宝小学校区を対象として、七宝北中学校への指定校変更を可能とする通学制度を導入することが令和2年度から予定されている。当該地区の保護者や児童生徒が、指定校に通学するか七宝北中学校に通学するかを適正に判断できるように、指定校（七宝中学校、美和中学校）と七宝北中学校の入学説明会で教育課程、学校行事、進路指導、生徒指導及び部活動などに関して丁寧に説明し、情報提供していかなければならない。

7 学校支援会議

家庭や地域の教育力の低下、学校におけるいじめ・不登校の問題、児童生徒の学ぶ意欲や学力・体力の低下、規範意識や道徳性の低下、そして、問題行動など、様々な教育課題が指摘されて久しい。

これらの教育課題を学校だけで解決するのは容易ではない。教育の担い手は、学校・家庭・地域であることを今一度肝に銘じ、地域ぐるみの教育を推進しなければならない。

平成24年度に設置されたあま市の「学校支援会議」は、このような認識に立った専門機関による迅速で力強い学校へのサポートが可能な画期的な体制として評価できる。平成30年度は甚目寺南中学校から要請があり、9月に学校支援会議を開いたとのことだが、今後も、この地域ぐるみの強力な会議が有名無実化することのないように、必要性・緊急性を感じた学校が躊躇することなく学校支援会議開催の依頼と相談ができるような工夫と配慮を期待したい。

○ 生涯学習課について

あま市民の自発的な学習意欲、様々な学習ニーズに応えられるような事業や講座を設定している。

公民館事業では、どの公民館も市民の興味・関心を引く、充実した内容の講座を数多く企画運営している。これらの活動を通して、市民が知識や趣味を広げることはもとより、相互の交流を深める地域コミュニティ形成に寄与している。

シルバーカレッジ事業では、60歳以上のあま市在住・在勤の方々を対象とし、歴史・健康・運動・異文化コミュニケーション・防災などに関する各種の講座が開設され、受講生の学習や健康づくり、コミュニケーションづくりに貢献している。平成30年度に消費者トラブル対応の講座が開かれたことは、架空請求・不当請求やインターネットショッピングでのトラブルが増加している近年、消費者が正しい知識と判断力をもつための有効な講座と言える。これらの講座の受講を契機に交友が始まり、その後、数年経っても交流を続け、親睦を深めている方もみえるほどである。今後、この事業のさらなる拡大・充実を図り、シニア層の生活の活性化を促し、生きがいを実感しながら活躍できる新たな地域社会の形成へと発展していくことを願いたい。

あま市の家庭教育推進事業は、とても充実している。子育てに関する知識を広げたり、親同士のつながりを深めたりできるように、様々な幼児期家庭教育講座を開設している。この事業は、育児不安やストレスに悩む母親の支援として意義あるものである。

各校で開催している家庭教育学級の内容は、どちらかと言えば、健康や趣味に関する実技講座が多い中、平成30年度は、PTA道徳体験講座や子育て講演会「子供の心（脳）の育て方」などの講座が設けられるようになったのは評価できる。

○ スポーツ課について

平成27年度に新設されたスポーツ課は、幅広い年齢層を対象とした様々なスポーツ教室、スポーツ行事・大会を実施している。平成30年度より受講者にアンケートを取って幅広い年齢層のニーズに応えようとしていることや社会体育施設・設備などのハード面の整備も計画的に進められていることを評価したい。

今後は、より多くの市民、幅広い年齢層の市民の健康増進や体力向上の機会を提供するだけでなく、スポーツを通してコミュニケーションや親睦を深めながら、楽しむことができるようなスポーツ教室・講座事業の新設・充実を願う。

○ 学校給食センター課について

「親子料理教室」、「学校での食に関する指導の実施」、「学校での健康教育の参加」など、各校や関係機関との連携を図りながら、食育の推進への積極的な取り組みを進めていることは評価できる。

新学校給食センター整備事業については、令和元年9月供用開始に向け、全小中学校へ試験的な給食提供をし、安全安心な給食提供への課題チェックと調理・配送等業務の最終確認をするなど、万全な整備を進めるよう期待する。

給食は、安全性を最優先する考え方のもとに提供されなければならないことは言うまでもないが、新しいシステムに変更されたときこそ、様々な課題が生じてくることが予想される。従って、市教委の監視と指導の下、どんな小さな問題点も見逃さず、今まで以上の複数の目によるチェック機能の強化と緊急時の危機管理マニュアルに従った適切な対応がなされるように万全な危機管理体制を構築していかなければならない。

学識経験者名	浅井 厚視（愛知教育大学講師）
--------	-----------------

各教育委員会は平成20年度から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の定めにより、委員会の活動を評価し議会に報告することになっている。あま市では、その点検・評価にあたり外部意見をヒアリングし、綿密な教育行政の見直しを粛々と行っている。また「教育立市プラン」、「あまっ子宣言」により、教育行政の目指すべき姿の見える化を図り、平成28年3月には、市長と教育委員会による「総合教育会議」で「あま市教育大綱」を策定した。以下の点検・評価の項目は、この教育大綱に基づいており、独立した行政機関である教育委員会と一般行政が協力・連携した結果達成した（達成しつつある）教育施策についてである。

今後も教育行政の独立性を維持しながら、地域・家庭・学校の連携を仲立ちし、行政関係各課・他の教育関係団体との連絡・調整を図ることのできる教育委員会を目指していただきたい。

○学校教育課について

1 スクールサポーターの配置

どれだけ働き方改革を進めようとも、教職員の手配なしでは空手形である。市雇用によるスクールサポーターの配置はあま市の目玉事業である。他市町村と比較して、羨ましい教育施策である。学校のニーズを受けとめ、個に応じた教育支援を行うため、今後も継続増員してほしい。

2 二期制への移行

あま市は現行の学校管理規則のまま「二期制」へと移行した。二期制（通知表）の良さは夏休み前・冬休み前に担任がゆっくり児童生徒を見ることができ、面談することができる点にある。また中学校3年生にとっては、前期の成績が出てから、時間をかけて進路決定をすることができる点にある。教職員の働き方改革の視点だけでなく、子どもや保護者との面談の時間を大切にする二期制を目指してほしい。また通知表などでは、子どもたちの学校での姿をきちんと伝えるよう指導していただきたい。

3 教育相談センター

教育相談センターの設置及び事業の展開は、あま市の教育行政の見通しの確かさを示している。不登校の子どもたちや小学校就学前の子どもたちへの教育支援について、いち早く取り組んできた。特に心理支援相談員（心理師・臨床心理士）の取組は他の市町村にない取組である。外部の専門機関として、学校を十分サポートしている。適応指導教室のあり方も他の市町村のモデルとなっており、子どもたちの数が増えているあま市にとって、益々肝要な事業である。

4 Ama Teachers College

平成24年度に始まった「あま教師塾」から7年。教職員研修は、働き方改革を考え、夏季休業中の研修が中心となった。教師力は授業と学級経営、そして人間関係を築きあげる力。そのノウハウをもっている講師陣を迎え、今後も継続的に研修が行われ、子ども理解・人間理解が深まることを期待したい。

5 学校教育施設のメンテナンス

エアコンの設置、体育館吊天井改修工事など、学校教育施設のメンテナンスが進められた。学校のニーズに基づき、プライオリティーと予算を考えたメンテナンスを進めていただきたい。

○生涯学習課について

1 社会教育講座・シルバーカレッジ

あま市の社会教育は、市民の学習意欲や学習ニーズに応える生涯学習講座が設けられている点で、貸館業務が中心である他の市町村の社会教育とは一線を画している。シルバーカレッジは様々な分野の講座が用意されており、受講生の学習・健康・コミュニ

ケーションづくり、さらに地域コミュニティの活性化につながっている。

2 地域学校協働活動

地域学校協働活動は、地域や家庭が自主的・主体的に学校をサポートする活動である。学校のニーズに応えるだけでなく、地域の行事ともかかわりをもつ。このボランティア活動に参加する人たちの生きがいや地域づくりに役立つ。また既存のPTA活動を補完し、コミュニティ・スクール協議会を立ち上げた時の実働部隊になってほしい活動拠点である。その意味で学校教育と社会教育が連携し、この活動を支えるボランティア（本部長、コーディネーター）の育成を図らねばならない。今後あま市教育委員会は、この活動の主旨を理解し、地域と学校との双方向性のある協働本部やコミュニティ・スクール協議会の立ち上げに尽力していただきたい。

3 歴史民俗資料館の文化財「調査・保存・活用・普及」

あま市の生涯学習の特色として、歴史民俗資料館を核とした文化財の調査・保存・活用・普及があげられる。平成30年度も「オコワ祭」の映像の記録、「甚目寺説教源氏節」など文化財の調査・保存活動を行った。また文化財の活用・普及活動として、無形民俗文化財（祭り）の見学会や歴史に関する講演会、さらに「あま市ものしり検定」、「あま市ものしりジュニア検定・選手権」と取り組んだ。これらの活動を通して、日頃から歴史民俗資料館に通う「歴民ファン」、「あま歴女」を育てている。

○ スポーツ課について

総合型地域スポーツクラブについて、今後は学校体育に代わり、クラブチームによるスポーツの運営が望まれる。そのためには市スポーツ協会と総合型地域スポーツクラブの自主運営・財源の確保が望まれる。スポーツ研修委員の力を借りて、活動を進めていただきたい。

○ 学校給食センター課について

新学校給食センターの整備が進んでいる。利用する学校や保育園などの意見を十分聞いて施設面の充実を図っていただきたい。また除去食への対応は、学校給食の喫緊のテーマである。子どもたちのことを十分配慮して、できる限りの対応をお願いしたい。

○ おわりに

海部地区7教育委員会の喫緊の課題は、水害や地震に対する教育行政を推進することにある。水害や地震に対する防災学習（危険個所の点検・ハザードマップの作成や避難所体験）を進めるとともに、避難所開設までの準備委員会や避難所を開設してからの運営委員会などについて、役割分担を行うことが肝要である。そのためには市役所関係各課、消防署との連携を進め、地域（防災NPO、老人クラブ、日本赤十字奉仕団、女性の会など）と一緒に活動を行わねばならない。その意味で地域防災の推進が教育委員会活動のキーワードとなってくるだろう。またコミュニティ・スクール協議会で、地域で話し合っほしい議題でもある。あま市教育委員会には、地域防災の課題に対して、積極的な発言をお願いしたい。